

上都賀地方の農業・農村

若者を呼び込み
次代へ繋ぐ農業・農村づくりに向けて



令和8（2026）年4月

栃木県上都賀農業振興事務所

❖❖❖❖❖❖トピックス（上都賀地方のこの一年）❖❖❖❖❖❖

【中古施設の活用による就農時の初期投資軽減策の取組が増加】

- 近年の物価高騰や資材価格の上昇により初期投資負担が増大し、新規就農者にとって大きな障壁となっています。
- このような状況を踏まえ、新規就農者が負担を抑えて営農を開始できるよう、中古施設の修繕に対し「経営資源有効活用リフォーム支援事業」を推進しました。
- 本年度は事業への関心が高まり、活用件数は昨年度の1戸から3戸へと増加し、円滑な営農開始に繋がっています。
- 引き続き、事業活用を推進し、初期投資負担の軽減と早期の経営安定化を支援していきます。



中古施設を解体して得られた資材



中古施設の資材を活用して
修繕されたハウス

【地域計画の実現に向けた支援活動を展開】

- 地域計画が策定された2市（鹿沼市、日光市）・27地区において、地域計画の実現に向けた農地の集積・集約化を推進しています。
- 各市において1か所の重点支援地域を設定し、研修会の開催や事例調査、農地利用の最適化に係る優良事例の共有など、課題解決につながる取組を実施しました。
- 今後とも、重点支援地域等を中心に、地域計画の更なるブラッシュアップを伴走支援していきます。



先進地事例調査（福島県）



先進地意見交換（鳥取県）

【市や JA 等と連携した研修制度により新規就農者が増加】

- いちご、にらの新規就農者の確保に向け、鹿沼市及び日光市は、市農業公社や農業者が管理するほ場で収穫体験会等を開催し、参加者 17 名に対し、研修を経て就農していく具体的なメリットを紹介するなど、就農促進に取り組みました。
- 令和 8 年度には、研修制度を修了した 10 名が就農する予定です。
- 今後も地域との密接な連携により、就農希望者の円滑な就農・定着化を支援して参ります。



にら収穫体験会



いちごのパック詰め体験

【かみつが農業女子の活動支援】

- 令和 7 年度にメンバーが 18 名となり、今年度はグループ活動の充実を図る目的で、多くのマルシェに出展・参加しました。
- 上都賀地域で頑張っている女性農業者の紹介や自慢の農産物・加工品の PR など、一般消費者との交流の中で、消費者から何を求められているのか、どのように PR すれば違いや良さを伝えられるのか、それを生産している自分たちの想いが伝わるのかなど、実践の中で多くのことを学びました。
- また、メンバーそれぞれも、個別の経営環境に応じた様々なプロジェクトを展開しており、お互いに情報交換を行うことで、活動の更なる充実が期待されます。



とちぎ食と農魅力発見フェア出展



料理教室「ごはんのお供 COOKING」

【「とちあいか」の普及拡大、単収向上技術支援】

- 近年の資材・人件費高騰により、いちご生産者の所得低下が懸念されていることから、高単収で収益向上が期待できる新品種「とちあいか」の普及拡大に取り組みました。
- また、栽培技術の確立を図るため、展示ほ等から得られた品種特性や技術情報について、個別巡回や現地検討会、講習会等を通じて、生産者への周知、指導を行いました。
- これにより、令和7年産では、栽培戸数が管内生産者全体の8割を超える135戸に増加し、単収はとちおとめ4.1tに対し5.9t、販売額は32億円と、過去最高を更新する成果が得られました。

いちご新品種「とちあいか」を作付けしましょう！

いちご新品種「とちあいか」は、令和5年産では県内で683名の生産者が栽培しており、上都賀管内においても60名（前年比2.0倍）、8.6ha（前年比2.3倍）で栽培され、消費者からも「食味が良く、一度食べるとまた食べたい」という意見など高い評価をいただいています。

令和6年産では、上都賀管内において生産者数・栽培面積とも更に増加する見込みであり、県全体でも作付け拡大が進むと見られます。

とちあいかの特徴

- 総収量が多い。
- 草勢管理がしやすい。（株数を起こしにくい）
- 収穫始期（花芽分化）が早い。
- 心止まり（芽なし）が少ない。
- ランナー発生が多く、チップバーン・先枯れが少ない。
- 食味が良い。
- 果形がきれいで、果実が大きく、小玉果が少ない。
- 収穫作業、バック詰めが楽である。

また、収穫初期の出荷ロスが多いことが課題でしたが、令和5年産では栽培マニュアルに基づく対策により大幅に出荷ロスが低減できており、品種特性に合わせた栽培管理が確立できてきています。

気温が高くなる3月以降は「果実の色まわりが早く収穫期間が短い」等の課題もありますが、所得向上が期待できる品種です。積極的にいちご経営に取り入れ、所得向上を目指しましょう！

その他、とちあいかの栽培に関する御相談は、上都賀農業振興事務所までお問い合わせください。



とちあいかの果実状況



とちあいか現地検討会

とちあいか作付け推進記事

【細霧冷房による花き暑熱対策】

- 近年、夏季の高温により、花きの花芽分化異常や開花遅延が問題となっています。
- シクラメンの施設栽培において、高温の影響を回避するため、気化熱の原理を利用した細霧冷房の導入を推進しました。
- 6～9月の高温時における冷房処理により、施設内及び葉の温度が約4℃低下した上、11月からの出荷期には開花遅延はなく、品質も優れました。
- 低コストで効果的な高温対策技術として期待されます。



稼働中の細霧冷房



出荷期を迎えたシクラメン

【にらの産地拡大に向けた支援】

- にら産地の拡大を図るため、上都賀地域にら戦略に基づき、生産性の向上と省力化を推進しています。
- 令和7年度は、国庫補助事業を活用してパイプハウスの整備やウォーターカーテンの導入を推進し、産地の栽培面積が3.4ha増加しました。
- また、出荷調製作業の省力化に向け、新たに開発された「そぐり機」について、実演会や補助事業の推進等により、産地への導入を支援しました。
- 今後も、更なる規模拡大及び省力化に向けた取組を支援し、収益力向上を図ります。



パイプハウスの整備



「そぐり機」実演会

【さといもの生分解マルチ、省力機械の導入検討】

- 県内一のさといも産地のさらなる強化に向け、各種プロジェクト活動を展開しています。
- 作付拡大を図るため、さといもの高品質化、省力化技術の実証展示ほ設置や検討会を開催するとともに、ほ場整備地区において作付を推進しました。
- 今後も、ほ場整備計画及び実施地区等に高収益作物として作付を推進し、新規栽培者の確保による産地拡大を目指します。



マルチ比較展示ほ見学会



省力機械等導入検討会

【米の産地体制強化】

- 夏季高温の影響により、白未熟粒や病害虫の発生が見られ、米の品質及び収量低下が懸念されています。
- JA かみつがでは、米の品質維持及び受け入れ体制の強化を図るため、色彩選別機の導入や荷受施設の改修など、南上野カントリーエレベーターの機能強化に取り組みました。
- 今後は、施設の合理化に合わせ、高温登熟性の高い「とちぎの星」への転換を進め、品質の高い主食用米の安定生産を推進します。



稲刈り風景



色彩選別機

【コントラクター組織の育成】

- WCS (Whole Crop Silage) の収穫・調製を行う法人経営体における不安定な組織運営の解決に向け、構成員を対象に個別巡回を行い、課題解決を図るための話し合いの場づくりを支援しました。
- また、補助事業の活用支援を行い、汎用型微裁断飼料収穫機が導入されたことにより、作業効率及び品質が向上するとともに受益面積が拡大し、経営力の強化が図られました。
- 今後も、自主的な運営及び持続的な発展に向けた取組を支援していきます。



乾田直播の実施



汎用型微細段飼料収穫機での作業

【農泊拠点の整備と地域資源活用で誘客促進】

- 日光市を訪れるインバウンドを含む多くの旅行者は、観光だけでなく「地域の文化や食の体験」を求めており、農村地域資源を活用した誘客の可能性に期待が高まっています。
- 「のらのわ～タガヤスネットワーク～」は、「日光地域農村グローバルビジネス創出計画」を策定し、農泊の拠点となる宿泊施設整備や、地域事業者と連携した体験メニューを開発しました。
- 今後は連携事業者の拡大とともに、体験メニュー等の充実化を図り、誘客を促進することが期待されます。



体験メニューの開発
(干し芋作り)



体験メニューの開発
(酒蔵見学)

【薄井沢地区で農地バンクの活用により8割の農地が集積】

- 令和2年度から、日光市薄井沢地区において農地整備事業に着手し、担い手農家への農地集積（令和13年度までに80%を目標）を進めています。
- 各農家への働きかけにより、令和6年度末には農地集積80%が達成されるとともに、7年度は、農地バンクの活用により機構集積協力金が交付され、地域づくりに活用されました。
- 今後は、農地の集約化率80%に向けた取組を支援するとともに、収益性の高い園芸作物等の導入を推進していきます。



集積に向けた話し合い



農地集積状況図

【ほ場整備事業地区（玉田地区、轟地区）の計画樹立】

- 玉田地区（鹿沼市）、轟地区（日光市）では、地元の推進組織が中心となり、さまざまな関係機関と連携しながら、令和8年度の国庫補助事業採択を目指し、準備を進めてきました。
- ほ場整備事業では、狭小で不整形な水田の大区画化と併せて、水路や農道等も整備することにより、大型農業機械の活用や効率的な水管理が可能となります。
- また、これらの地区では事業を契機に、地域の農業を将来に渡り支える担い手の育成や、収益性の高い園芸作物等の導入に取り組んでいきます。



玉田地区（鹿沼市）



轟地区（日光市）

【地域の多様な人材と連携した多面的機能支払交付金活動組織の取組の展開】

- 多面的機能支払交付金活動組織は、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、草刈り、水路補修等、地域資源の保全管理活動を行っています。
- 持続的な活動には、女性や非農家などの多様な人材の参画が重要であることから、「女性意見交流会」を開催し、女性の参画促進に向けた意見交換を行いました。
- また、鹿沼市の「磯町の自然を守る会」は、地域の若手や女性を巻き込んだ取組が関東農政局の最優秀賞を受賞しました。



令和7年度関東農政局多面事業局長表彰
（最優秀賞）



令和7年度女性意見交流会

【「みえるらべる」を系統出荷組織として初めて活用】

- ・JAかみつが日光特別栽培米研究会は、環境保全型農業直接支払交付組織として、平成24年から減農薬・減化学肥料栽培に継続して取り組んできました。
- ・今回、農薬・化学肥料の5割低減と機械除草の実践が、温室効果ガス削減に繋がる緑肥施用及び生物多様性保全の取組として認められ、「みえるらべる」活用が可能となり、令和7年産米から表示しています。
- ・今後も「みえるらべる」を活用し、環境にやさしい栽培方法で生産した米のPRと新たな販路開拓を図ります。



視察研修会



「みえるらべる」の活用

【大豆の収量確保に向けた取組】

- ・猛暑による大豆の収量及び品質低下が課題となっていることから、大豆根粒菌資材を用いた展示ほを設置し、生育や収量への効果を検証しました。
- ・播種前に大豆根粒菌資材を種子粉衣しても、生育ステージによる差は無く、増収効果が確認されました。
- ・根粒菌接種は、資材費や種子粉衣の労働経費などコストはかかりますが、総合的に判断すれば所得向上につながり、経営改善効果が期待できます。
- ・今後は、本資材の普及を見据えて効果検証していきます。



種子粉衣した根粒菌資材
(茶色粉状が根粒菌)



根粒菌接種の着莢効果
(左が接種区)

【SNS による情報発信の強化】

- 上都賀地域は、魅力的な地域資源や農産物、観光資源が豊富にあり、幅広く認知されるよう定期的な情報発信を行っています。
- 令和7年度は、特に紅葉やいちご等の関心の高まるシーズンに強化月間を設け、農政部公式 SNS による積極的な情報発信を行いました。期間中は、閲覧数や投稿へのリアクションの増加が見られ、認知度の向上が図られました。
- 今後も、季節やイベントに合わせた情報発信を通して、上都賀地域の農業農村の認知度向上に努めます。



管内いちご狩り情報



地元物産店の紹介

【家畜防疫演習により関係機関・団体との危機管理対策を共有】

- 特定家畜伝染病が発生した際には、迅速な防疫対策の実施が必要となります。
- そこで関係機関・団体を参集し、家畜防疫の事案発生時の初動体制や措置の手順等について演習を実施しました。
- 演習では、特定家畜伝染病の発生状況や鳥インフルエンザ発生時の対応に関する座学に加え、管内での発生を想定したグループワーク形式による情報伝達を行いました。
- 今後も未然防止対策を進めるとともに事案発生に備えた関係機関・団体との連携を強化していきます。



1 部



2 部

目 次

トピックス

I 上都賀地方の概要	1
1 位置及び地勢	1
2 気象	1
3 農業・農村基本データ	1
II 上都賀地域農業振興計画（地域戦略）実績	
1 地域戦略1：上都賀地域の強みを伸ばす「施設園芸経営体の所得向上」	2
2 地域戦略2：地域連携と超省力化による「収益性の高い上都賀型水田農業の確立」	5
3 地域戦略3：持続可能な上都賀地域の農業・農村の形成	8
III 普及活動年度実績	
1 高収量・高品質による野菜経営の向上	12
2 新品種・新技術の導入推進によるいちご・花き経営の向上	13
3 優良品種・優良技術の普及、担い手の育成による稼げるなし産地の強化	14
4 収益性の高い土地利用型経営体の育成	15
5 畜産生産基盤の強化と経営継続支援	16
6 次世代の地域農業をけん引する人材の確保・育成	17
7 多様な担い手の確保と稼げる経営体の育成	18
8 持続可能な地域農業の構築	19
IV 各種コンクール等受賞者一覧	20
V 上都賀地方の農業・農村の動き	
1 農地等の状況	
(1) 耕地等面積	21
(2) 農業振興地域	21
(3) 農地の動き	21
(4) ほ場整備の実施状況	23
(5) 農業集落排水事業の実施地区一覧	23
(6) 農道、集落道の整備状況	23
2 農家等の状況	
(1) 農家	24
(2) 栃木県農業士等の認定状況	25
(3) 新規就農者	26
(4) 集落営農組織数	26
(5) 農業経営改善計画の認定状況	26
(6) 家族経営協定の締結状況	27
(7) GAP認証の取得状況	27
(8) みどり認定の取得状況	28
(9) 農業者組織の状況	29

3	農業生産等の状況	
(1)	水稲	30
(2)	麦	30
(3)	大豆	31
(4)	そば	31
(5)	畜産	32
(6)	放牧場の概要	32
(7)	水産（漁業協同組合数）	32
4	農産物等認証状況	
(1)	とちぎの地産地消推進店認定及び登録状況	33
(2)	栃木県特別表示認証食品認証状況（Eマーク）	36
5	田園風景百選認定状況	37
6	6次産業化総合計画認定状況	38
7	農業制度資金融資（貸付）状況	38
8	農漁業災害及び農地・農業用施設災害の発生状況	
(1)	農産物、生産施設等	39
(2)	農地、農業用施設等	39
9	放射性物質検査結果	
(1)	農業振興事務所が行う検査	39
10	米の需給調整状況	40
11	農業団体、農業公社等の概要	
(1)	上都賀農業協同組合	40
(2)	市町農業公社	40
(3)	公設地方卸売市場	41
12	ライスセンター・カントリーエレベーター等設置状況	
(1)	米麦用	42
(2)	豆類・雑穀用	42
(3)	飼料用米	42
13	農産物直売所、農村レストラン等設置状況	
(1)	農産物直売所	43
(2)	農村レストラン	44
(3)	加工体験施設	44
(4)	市民農園	44
14	各種地域指定等一覧	
(1)	地域指定	45
(2)	野菜指定産地	45
15	補助事業等実施状況	
(1)	補助事業（非公共）	46
(2)	基盤整備事業	50
(3)	多面的機能支払交付金実施状況	52
(4)	中山間地域等直接支払制度実施状況	54
16	上都賀地域土地改良区統合整備状況	55
17	関係機関・団体一覧	56

I 上都賀地方の概要

1 位置及び地勢

上都賀地方は県の北西部に位置し、鹿沼市、日光市の2市からなり、北は福島県、西は群馬県に接しています。

当地方の総面積は1,940km²で、県全体の約3割を占めます。日光国立公園や前日光県立自然公園など、貴重で美しい自然が残されているほか、数多くの景勝地や温泉地などで知られる日光・鬼怒川など、観光資源にも恵まれています。湖沼は、中禅寺湖、五十里湖、川俣湖などがあり、河川は、北西部を源とする鬼怒川、思川、黒川などがあります。

2 気 象

気象は、東日本の内陸型の特徴を有し、夏は高温で雷の発生が多く、冬は低温で晴天が多い地域です。鹿沼市（観測地点）における1996年から2025年までの平均値は、年間平均気温13.0℃、年間降水量1,624mm、年間日照時間1,918時間となっています。

3 農業・農村基本データ

	鹿沼市	日光市	上都賀地区	県構成比	備考
総人口(人)	89,159	71,031	160,190	8.6	栃木県毎月人口推計月報 (令和8(2026)年3月1日現在)
総世帯数(戸)	37,352	32,314	69,666	8.4	
総農家戸数(戸)	2,365	1,608	3,973	10.2	2025年農林業センサス
農業経営体数(経営体)	1,501	1,148	2,649	10.2	
うち1千万円以上(%)	17.9	11.4	15.1	9.0	
うち5ha以上(%)	7.3	12.5	9.6	6.5	
耕地面積(ha)	5,420	5,260	10,680	8.9	令和7(2025)年 作物統計調査(耕地面積)
うち田	3,940	4,040	7,980	8.5	
うち畑	1,480	1,220	2,700	10.2	
1経営体当たりの 経営耕地面積(ha)	2.47	3.22	2.79	3.47*	2025年農林業センサス
水田整備率(%)	67.5	36.8	52.7	69.6*	令和7(2025)年3月末現在
認定農業者数(経営体)	430	274	704	9.5	令和7(2025)年3月末現在
担い手への農地集積率 (%)	52.5	47.6	50.0	56.8*	令和7(2025)年3月末現在

※県平均

II 上都賀地域農業振興計画(地域戦略)の実績

地域戦略1:上都賀地域の強みを伸ばす「施設園芸経営体の所得向上」

1 地域戦略の概要

上都賀地域の施設園芸は、品質面を中心に産地のブランド化が進んでおり、新規就農者に占める割合も高いなど、更なる発展が期待できます。そこで、所得向上に意欲ある経営体（いちご、にら、トマト、花き）を明確化し、所得目標を達成するための課題を個別に洗い出し、改善に向けた取組（基本技術の再点検、新品種・新技術の導入、省力化・分業化の検討・推進、ICTを活用した「栽培管理の見える化・共有化」、雇用労働の導入等）を総合的にマネジメント（重点的な個別指導、集団指導等）します。

2 実績

注) 上段は目標値、下段は実績値

指標項目		現状 (R1)	R 3	R 4	R 5	R 6	目標 R 7	達成率 (実績値/目標値)
いちご・にらの 収量向上率 ※1 (%)	いちご	100	102 115	104 115	106 121	108 119	(110) 120 129	108%
	にら	100	(102) 110 123	(104) 111 118	(106) 112 107	(108) 113 125	(110) 115 126	110%
中核経営体数 ※2		19	19	24 28	(26) 34 36	(28) 34 44	(30) 47 48	102%
新品種・新技術導入経営体数		153	180 173	200 225	(220) 307 314	(220) 325 362	(240) 379 389	103%

※1 重点指導対象者の単位当たり収量(t/10a)、いちごは年産、にらは1～12月出荷分

※2 上都賀地域主要園芸品目(いちご・にら・トマト・花き)における販売額3,000万円以上の経営体

3 5年間の主な取組と成果

(1) 所得向上に意欲ある経営体の明確化と課題の洗い出し、取組計画の策定

- ・若手施設園芸経営者を中心に、重点指導対象候補者をリストアップし、新たな経営展開に意欲的な施設園芸経営体の明確化を図るとともに、所得目標達成に向けた課題を個別に洗い出し、支援を実施

〔中核経営体数 19→48戸(いちご 8→22戸、トマト 1→8戸、にら 3→9戸、花き 7→9戸)〕

(2) 目標達成に向けたマネジメント

- ・施設園芸経営体ごとに設定した目標達成に向け、関係機関団体と連携して支援体制を整備、個別相談、個別・集団指導、伴走支援等による目標管理マネジメントを実施
- ・重点指導対象者ごとに個別に設定した支援メニューにより、①基本技術の再点検、②新品種・新技術の導入(いちご「とちあいか」、にら「ウォーターカーテン」等)、③ICT等先端技術を活用した栽培管理、④省力化・分業化の検討・推進、⑤雇用労働導入の検討・雇用管理の推進の5項目について個別指導を強化し、収益性の高い「上都賀地域施設園芸中核経営体」の育成を推進

〔重点指導対象者の収量向上率(R1基準100) R7:いちご 129%、にら 126%〕

(3) いちご・にらの産地発展に向けた取組強化

- ・いちご・にらの生産者を対象にアンケートを行い、関係機関とのワーキンググループにより現状把握と中長期的な産地分析を実施し、10年後に向けた振興方針を示した「上都賀地域いちご・にら産地戦略」を策定

(4) 高冷地ほうれんそうの産地発展に向けた取組強化

- ・高温に対応した生産方式の推進を図るため、遮熱対策資材の導入、遮熱対策資材の効果検証、耐暑性、耐病性の高い品種の導入の検討を実施

[遮熱資材の導入 10 戸、10.31ha]

4 5年間の取組を踏まえた主な課題

- 研修制度により一定数の新規就農者が育成されているが、依然として高齢化等により施設園芸の生産者・栽培面積が減少傾向にあるため、就農サポート体制の充実・強化による施設園芸を担う若い人材の確保・育成やトレーニングファーム、施設園芸団地等による円滑な就農環境を整備する必要がある。
- 広域集出荷施設の整備や省力化機械の導入等、省力化・分業化の取組は進みつつあるが、活用できる品目や作業が限定的で、必ずしも経営改善につながっていない。そのため、更なる主要作業の分業化や簡素化、省力化技術の推進により、施設園芸の経営規模や収益の拡大を図る必要がある。
- 夏季の猛暑や急激な気象変化等、近年の気候変動により、収益が不安定になっており、気候変動対策や新技術・新品种の導入による収益性の向上が必要である。

5 令和7年(2025)年度の取組計画と取組状況及び今後の対応等

(1) 所得向上に意欲ある経営体の明確化と課題の洗い出し、取組計画の策定

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
・支援対象者への支援カルテに基づく継続的な技術支援	◇支援カルテ見直し、販売状況把握 ◇中核経営体数 44→48 戸 いちご 21→22 戸、にら 8→9 戸 トマト 7→8 戸、花き 8→9 戸 ◆中核経営体数は単価に左右される状況 ◎中核経営体候補者の個別課題への支援を継続

(2) 目標達成に向けたマネジメント

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
ア 基本技術の再点検 ・いちご：とちあいかの栽培技術向上 ・にら：栽培技術高度化による多収安定生産 ・トマト：栽培管理、多収安定生産の確立	◇とちあいかの栽培管理徹底を指導 いちご収量向上率 129% (R1 比) ◇にら収量向上率 126%(R1 比) ◇トマト：30t/10a 以上 2→3 戸 ◆高温の常態化等、気候変動による、生育不良や品質低下の発生 ◎気候変動対策技術の検討及び導入による生産安定の推進
イ 新品种・新技術の導入 ・いちご：とちあいかの作付け推進 ・にら：栽培技術高度化による多収安定生産 ・花き：あじさい県育成八重咲品種の生産技術の確立	◇新技術の導入 291→389 戸 とちあいか 138→149 戸、にらウォーターカーテン 31→33 戸他 ◇八重咲あじさい 24,000→26,180 鉢 ◎新規導入者への技術支援
ウ ICT 等先端技術を活用した栽培管理 ・いちご：先進技術の導入によるハウス内環境の見える化推進 ・にら：栽培技術高度化による多収安定生産 ・トマト：高度環境制御によるトマト栽培の推進 ・花き：施設花き環境制御技術の確立と普及	◇ICT 導入経営体数 71→74 戸 いちご 38→40 戸、にら 13→14 戸他 ◆取得した環境データを効果的に活用できていない事例がある。 ◎環境データの共有と環境制御技術の検討による栽培管理技術の向上推進

<p>エ 省力化・分業化の検討・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> いちご：無病苗供給体制の再構築と生産性向上 にら：栽培の省力化・分業化の検討 トマト：運搬及び防除を中心とした省力技術の導入促進 	<ul style="list-style-type: none"> ◇いちご苗生産への支援(4～8月) 無病苗充足率 100% ◇にらそぐり機導入台数 23→26台 ◆とちあいかの収量に見合う収穫選別体制が整っていない生産者が散見 ◆省力化機械の導入が経営拡大につながらない事例あり ◎省力化機械導入による経営発展モデルの育成やパッケージンググループ等分業化体制の検討による経営規模拡大の推進
<p>オ 雇用労働導入の検討・雇用管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> いちご：先進技術導入や雇用活用等の活用による収量向上及び中核経営体の育成 トマト：雇用を活用した大規模トマト経営体の確立 花き：雇用管理の適正化による施設花き中核経営体 	<ul style="list-style-type: none"> ◇いちご・にら・トマト・花き生産者への、経営相談会への参加を誘導 参加経営体数：いちご2戸、にら1戸 ◎経営相談会の開催、専門家派遣事業の活用等により土業と連携しながら経営発展を支援

(3) いちご・にらの産地発展に向けた取組強化

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<p>ア 戦略の具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> R5に策定した「上都賀地域いちご・にら産地戦略」に基づく、振興方策の進捗確認 「いちご団地」（玉田圃場整備地区）整備に向けた課題整理と推進方策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◇鹿沼市いちご・にら新規就農者支援協議会推進チーム設置 ◆地元農家、関係機関と連携した、具体的な将来営農構想の策定が必要 ◎地域と関係機関・団体の情報共有による、就農支援体制構築によるいちご団地の整備

(4) 高冷地ほうれんそうの産地発展に向けた取組強化

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<p>ア 高温に対応した生産方式の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 遮熱対策資材の導入、遮熱対策資材の効果検証、耐暑性、耐病性の高い品種の導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◇補助事業による遮熱資材導入支援 6戸導入 品種比較試験2回実施 ◆遮熱資材の導入により発芽率は改善されたが、遮光による品質低下が新たな課題 ◎暑熱対策（品種、遮熱資材の活用方法等）の継続的な検討により安定生産を支援
<p>イ 大規模ほうれんそう経営体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 高冷地ほうれんそうの中核経営体育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◇経営相談会参加誘導 15戸 中核経営体数 8戸



にらそぐり機実演会



ほうれんそう遮熱資材検討会

地域戦略2: 地域連携と超省力化による「収益性の高い上都賀型水田農業の確立」

1 地域戦略の概要

地域の話し合いや担い手のネットワーク化、次世代に向けた集落営農組織の再編等を進め、作業効率に配慮した基盤整備、省力化・低コスト化につながるスマート農業技術の普及拡大等を推進することにより、担い手の経営拡大の促進や高収益作物の導入等による経営の複合化を図ります。

2 主な指標

注) 上段は目標値、下段は実績値

指標項目	現状 (R1)	R 3	R 4	R 5	R 6	目標 R 7	達成率 (実績値/目標値)
経営面積 15ha 以上の担い手の総面積シェア* (%) 【耕地面積に占める割合】	19.8 【16.9】	22 【17.7】	24 【19.0】	26 【20.4】	28 【21.2】	28 【24.8】	—
集落営農組織等の連携・再編数 (地区)	— 0	— 0	1 0	2 2	2 3	2 3	150%
次世代型生産基盤技術計画地区数 (地区)	— 1	1 1	1 1	2 2	2 2	3 6	200%
スマート農業技術導入経営体数 (経営体)	22 70	37 70	73 80	87 100	110 106	120 113	94%

* 水田総面積に占める割合

** 国の調査項目から水田面積が削除されたため、数値未確定

3 5年間の主な取組と成果

(1) 地域の実情に対応した広域営農システムの推進

- ・ 所内に地域計画の支援担当者を配置し、関係機関・団体と連携して地域計画策定に係る話し合いを支援〔管内全地区（鹿沼市 19 地区、日光市 17 地区）で地域計画策定〕
- ・ 地域計画の実現に向け、関係者全体を対象に研修会や現地視察、事例調査等を開催し、地域計画への意識向上を促進
- ・ 関係機関と連携し、広域営農モデル地域として鹿沼市南押原地区及び日光市塩野室地区を設定し、各地域に応じた取組を推進

【鹿沼市南押原地区】

「農業を考える会」を開催し、集落営農組織間の連携に向け地域の話し合いを重ねた。その結果、5 集落営農組織による連携協定が締結され、協定締結後は自主的に会議が開催されるなど、連携強化が図られた。

【日光市塩野室地区】

若手担い手を対象とした情報交換の場づくりを推進した結果、若手担い手ネットワーク「米米くらぶ」が設立された。さらに、当該構成員のうち 1 経営体が法人化するなど、担い手の経営発展につながった。また、近隣の大室地区においても組織活動を支援した結果、新たに法人が設立され、広域的な運営に繋がった。

(2) 担い手の作業効率に配慮した計画的な基盤整備

- ・ ほ場整備地区の担い手に対し、次世代型生産基盤技術による省力化・低コスト化を動画や資料で周知
- ・ 次世代型生産基盤技術計画が 6 地区（薄井沢、千渡、玉田、轟、荊沢、西茂呂）で作成され、千渡地区と薄井沢地区で次世代技術を導入
- ・ 現地研修会では、施設保全の管理等を説明して関係機関の理解促進を図った。また、機能診断結果を踏まえて、水利施設の機能保全計画（28 地区）を策定、計画的な保全管理に向けた取組を推進

(3) 作業効率化の推進

- ・ 畦畔管理の省力化に向け、管内における 4 事例を収集し、関係機関で情報共有するとともに生産者を対象にラジコン草刈機等の実演会を開催し、省力化技術の導入を促進
- ・ ドローンや無人トラクターの実演会、水管理システムの試行検証等を通じて、スマート農業技術の導入を促進

〔スマート農業技術を導入した経営体数 R2: 33 経営体 ⇒ R7: 113 経営体〕

(4) 高収益作物の導入等による経営の複合化

- ・基盤整備地区における高収益作物や土地利用型経営体の新規栽培品目として、さといもを中心としたいも類の導入を推進した。個別巡回や、ホームページでの動画掲載、見学会等により推進〔5年間で新規栽培者10名を確保〕
- ・実演会や講習会を通してさといも省力化機械の導入を推進〔収穫機等の機械導入：25台／5年間、機械化一貫体系の確立した経営体数：5戸〕
- ・さといも研究会については、令和2年度当初は「日光里芋研究会」のみであったが、令和3年度には「鹿沼市里芋研究会」が新たに組織化等により水田を活用した露地野菜栽培の取組が拡大〔研究会員のさといも栽培面積 R3：886a ⇒ R7：1,051a〕

4 5年間の取組を踏まえた主な課題

- 担い手への農地集積は進みつつあるが、担い手自体は減少している。また、近年は気象の影響により主食用米価格が大きく変動しており、水田農業の経営は不安定な状況である。このため、担い手確保とあわせて、需要に応じた作物栽培を推進し、水田農業の収益性向上と経営の安定化を図る必要がある。
- 農地条件が悪い場合は作業効率が低下するため、担い手から敬遠されやすく、規模拡大の障害となっている。このため、基盤整備を契機として担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、スマート農業技術の導入により作業の省力化や生産コスト低減を一体的に進めていく必要がある。

5 令和7年(2025)年度取組計画と取組状況及び今後の対応等

(1) 地域の実情に対応した広域営農システムの推進

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<p>ア 広域営農モデル地域 鹿沼市：南押原地区 5集落連携営農組織のさらなる活動強化を支援する。 日光市：塩野室地区 若手担い手ネットワークの活動支援及び近隣地区法人との広域連携について提案を行う。</p> <p>イ 重点支援地区 ほ場整備を契機とした水田農業のあり方（高収益作物導入）と農地集積の推進 鹿沼市：千渡地区、西茂呂地区、玉田地区 日光市：薄井沢地区、轟地区、荊沢地区</p>	<p>◇南押原の5集落営農組織が自主的運営を実施。 ◇農事組合法人大室 は、日光市・宇都宮市・塩谷町と広域的に収穫作業を受託 農事組合法人大室：事業を活用し収穫機を導入 ◇重点支援地区（鹿沼市：玉田地区、日光市：轟地区）が設定され、農地の営農構想が策定 ◆地域計画や農地バンク事業の理解が不足 ◎地域計画の実現に向け、重点地区を中心に関係者と連携して支援 ◎地域計画や農地バンク事業の理解促進 ◎地域計画の実現に向けた農地集積・集約化や担い手確保の話し合いへの支援</p>

(2) 担い手の作業効率に配慮した計画的な基盤整備

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<p>ア ほ場整備等計画・実施地区における次世代技術活用の理解促進と意向確認 各営農検討部会（千渡、西茂呂、玉田、薄井沢、轟、荊沢）での話し合い支援</p> <p>イ 水利施設の機能診断と診断結果に基づく機能保全計画の策定 機能保全計画に基づく適正管理の推進</p>	<p>◇玉田、轟地区：次世代技術を盛り込んだ農地整備事業がR8年度に採択予定 ◇荊沢、西茂呂地区：次世代技術の必要性の理解が進んだ ◇今年度工事実施：圃場の大区画化（薄井沢、千渡）、排水路暗渠化（薄井沢）、ICT自動給水施設の試験設置（千渡） ◆維持管理対策が必要 ◎管理面での対応を地元の意見を聞き取りながら検討していく ◇土地改良区等へ適切な施設の維持管理を指導 ◎機能診断業務結果や現地研修会の開催等を通じ、土地改良区等を引き続き指導</p>

(3) 作業効率化の推進

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
ア 効率的な畦畔管理体制の研究・推進 サービス事業者の事例集を作成、畦畔管理の普及啓発 イ スマート農業技術の効果的な活用 RTK基地局等の活用事例を調査、情報を共有化	◆田植えや稲刈り等の機械作業は、地域の担い手によってカバーされている。一方、畦畔や水管理は地権者が実施することが多く、サポートする受け皿が少ない ◎畦畔管理等の取り組み事例を収集・整理し、情報提示していく ◇RTK 基地局利用者の調査状況を取りまとめ、関係機関と情報共有化 ◇スマート農業技術導入数：139 台。RTK 基地局の利用者数：2 戸増加 ◆水田地域に RTK 基地局は整備されているが、価格等の理由から利用できる機器の導入は進んでいない ◎RTK 基地局の利活用を PR していく

(4) 高収益作物の導入等による経営の複合化

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
「上都賀地方さといも推進 2.1」による総合的な展開（導入農家の開拓、研究会の実施、機械整備支援等） ア 中規模土地利用型経営体への露地野菜（さといも、さつまいも、馬鈴薯）導入推進 イ 基盤整備地区に対し、高収益作物としてのさといも推進 ウ 湛水さといもの栽培推進（日光里芋研究会、鹿沼里芋研究会）	◇見学会生産者：11 名出席。機械実演会生産者：11 名出席 ◇県露地野菜セミナー：荊沢、轟の生産者 3 名出席。 ◆主食用米の単価高により、いも類の作付け意欲が低下している ◎いも類栽培に興味がある農家に対し、情報提供、見学会へ誘導する ◇さといも新規栽培者 1 名が、収穫機 1 台導入 さつまいも生産者が、蔓(つる)刈機 1 台導入 ◆生産者が高齢化しているため栽培規模を縮小 ◎ほ場整備地区に対し、湛水栽培や機械化された栽培方法を紹介しながら作付けを推進していく



地域計画の実現に向けた視察研修



さといもの実演会

地域戦略3:持続可能な上都賀地域の農業・農村の形成

1 地域戦略の概要

上都賀地域の魅力ある農業・農村を次世代につないでいくため、新たな農業人材を呼び込むための取組や、産地と連携した参入者向け研修制度の充実、就農定着サポート体制の強化により、次世代の産地を牽引する人材を確保・育成します。

また、地域活性化を図れる人材の育成、地域の観光・商工・林業などの多様な人材との連携、農村資源の発掘や磨き上げ、地域の特性を生かした特産作物の振興、交流人口や関係人口の拡大など、農村所得拡大に向けた基盤づくりに取り組みます。

2 主な指標

注) 上段は目標値、下段は実績値

指標項目	現状 (R1)	R 3	R 4	R 5	R 6	目標 R 7	達成率 (実績値/目標値)
新規就農者数	126 人 /5 年間	28 人/年 26 人/年	28 人/年 26 人/年	28 人/年 31 人/年	28 人/年 29 人/年	28 人/年 30 人/年	101%
地農産物直売所や農村レストラン等の年間販売額	1,940 百万円	1,946 百万円 1,812 百万円	1,952 百万円 1,877 百万円	1,958 百万円 1,936 百万円	1,964 百万円 1,952 百万円	1,970 百万円 調査中	99% (R6 実績)

※新規就農者 = 自営就農者 + 将来独立を目指す雇用就農者

※新規就農者目標 28 人/年 = 認定農業者数 731 戸(R2.3) / 世代交代年数 26 年

※世代交代年数 26 年(定年延長後の年齢 65 歳 - 直近 5 年の自営就農者の平均年齢 39 歳)

3 5年間の主な取組と成果

(1) 若者への農業・農村の魅力発進及び就農意欲の喚起

- ・小中学校を対象とした農業魅力発信講座を開催 [R3 鹿沼市内小学校 1 校]
- ・Uターン就農啓発資料の作成及び配布(4000 部)や各種広報誌、事務所HP等で地域農業や農村の魅力を発信。
- ・鹿沼南高校での魅力発信講座開催に向け学普連携を通じた支援を実施 [R5~R7 年間 20 回程度]

(2) 園芸産地と連携した就農研修制度の充実・強化

- ・事務所HPや「トチノ」サイトへの掲載及び県公社と連携し研修制度を広く周知
- ・鹿沼市及び日光市でいちご・にら対象に毎年計 4 回の農業体験会を通じて研修制度の活用を推進して就農希望者を確保 [5 年間での研修生の確保: いちご 14 名、にら 8 名]

(3) 他産業で働く農家後継者の呼び込み

- ・Uターン就農啓発資料の作成及び配布(4000 部)や各種広報誌、事務所HP等で地域農業や農村の魅力を発信(再掲)
- ・JAと連携した就農相談会の開催。
- ・Uターン就農希望者への個別相談の実施 [R4~R7 のべ 43 件]

(4) 円滑な就農定着に向けたサポートの強化

- ・研修期間中からの就農準備として青年等就農計画の作成支援を実施し円滑な経営開始を支援 [R3~R7 認定新規就農者 45 名(変更を含む)]
- ・資金利用新規参入者など経営リスクの高い新規就農者を対象としたリスク管理表の作成及び評価検討結果に基づく重点対象者への個別巡回指導実施 [R3~R7: 31 名対象]
- ・就農定着に向けた取組として、フレッシュファーマーアカデミーの開催 [R3~R7: 受講者 57 名] 及び関係機関で構成する就農支援サポートチームによる巡回支援等を実施

(5) 多様な担い手の育成

- ・若手女性農業者の連携組織である「かみつが農業女子」に 18 名が加入し、交流会 3 回開催

- (6) 地域の特性を生かした作物振興と拠点施設を核とした地域活性化
- ・そばの二期作に対応した新品種の導入推進検討会を設置し、品種適応性試験の実施及び品種選定後の種子生産・供給に係る運用規定の策定を支援 (R3～R6)
 - ・さといもの認知度向上のため生産者や実需者等が連携したメニューフェア及びスタンプラリーを開催し、上都賀地域の農産物等の魅力発信を実施 (R3～R6)
 - ・SNS や紙媒体等を活用し、農産物をはじめとした上都賀地域の農業・農村の魅力を発信 [SNS 投稿: 県Instagram 183 件、農政部 X246 件 (R4～R7)、そばがトマップ 発行 15,000 部]
 - ・農産物直売所等における運営支援及び新たな取組の推進による誘客促進の実施 [SNS 等による発信、直売所マップ発行 10,000 部]
- (7) 交流・関係人口拡大による地域活性化
- ・国内外から訪れる人の周遊や長時間滞在につながる地域資源を活用した周遊促進を支援 [G T 素材集発行 2,000 部、鹿沼・日光おでかけマップ 発行 8,000 部]
 - ・インバウンドに対応した農泊推進に係る拠点整備及び農村体験メニュー等の開発を支援 [R7、日光市 1 団体]
 - ・地域活性化組織による交流拠点整備及び交流活動の自主運営等に対する伴走支援 [鹿沼市: 加蘇地区ふるさとづくり協議会]
 - ・「農ある暮らし」の普及啓発及び体験講座の開催
 - ・地域活性化組織と観光事業者のマッチング活動を通じたモニターツアーの開催 (R3～R4)

4 5年間の取組を踏まえた主な課題

- 後継者就農及び経営継続の意向確認を通じ、経営継承に関する農業者への意識改革支援が必要である。
- 親元就農予定者に対し就農前からのアプローチの機会を確保し新規就農時の確実な支援を行うことが必要である。
- 近年の資材等高騰に対応するため、就農時の初期投資軽減対策として施設・機械等の確実なマッチング体制整備が必要である。
- 農村地域の活性化に向けては、関係人口の拡大や農村環境を保全する活動等の継続に加えて、農村の新たな稼ぐ力が必要である。

5 令和7年(2025)年度取組計画と取組状況及び今後の対応等

(1) 若者への農業・農村の魅力発信

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・若者の就農意欲を喚起するため、鹿沼南高と連携し魅力発信講座を開催(20回)します。 ・農業大学校本科1年生の農家派遣研修に対する支援を実施します(2名以上)。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇魅力発信講座の開催(17回) ◎将来、親元就農及び雇用就農を選択できるような効果的な事業の実施を支援 ◎親元就農促進の観点から、経営主を対象にした将来のプランづくり等の支援策を検討 ◇農家派遣研修の支援(7名) ◎魅力発信講座で接点を持った農業者を希望研修先とする学生、そして研修先への雇用就農者が一定数おり継続的に実施

(2) 園芸産地と連携した就農研修制度の充実・強化

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・研修制度の周知を図るため、就農相談会での情報提供(3回)、事務所HP及びトチノHPへの情報掲載(1回以上)広報誌等への情報提供(3回)を行います。 ・R8年度いちご・なら研修生を確保(4人以上)します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇R8年度いちご研修生3名 ◆研修制度の活用推進を目的とした農業体験会の参加者は確保されているが、研修生の確実な確保には必ずしも繋がっていない ◎これまでの実施状況について、研修受入者を含む関係機関との振り返りを行い、確実に研修に繋がる開催方法を検討

(3) 他産業で働く農家後継者の呼び込み

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・経営相談会において経営継承相談を実施します（相談会1回）。 ・事務所発行の農業経営情報誌 PowerUp での認定農業者に対する就農相談PRを2回実施します。” 	<ul style="list-style-type: none"> ◇経営相談会による経営継承相談2件（相談会1回） ◆様々な形でUターン就農（親元就農）のアプローチを実施したが、各支援制度を活用する前に就農するケースが多い ◎部会単位及び個別経営体に対し、経営継続や継承に対する考えを調査し、親元就農者への確実な支援を行える体制を整備

(4) 円滑な就農定着に向けたサポートの強化

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<p>○新規就農者の定着に向けて、効果的に支援するため、以下の取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地・施設・機械のマッチング(1件以上) ・農業士等との連携スキームの作成・周知” ・リフォーム支援事業活用(1件以上) ・就農計画作成者の支援(100%) ・家族同席での相談実施(100%) ・フレッシュファーマーアカデミーの開催(10回) ・受講生の確保人数(10名以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇事務所での農地・施設・機械のマッチング（いちご1件、にら1件）リフォーム支援事業活用3件 ◆円滑な新規就農に向け、関係機関等の情報共有体制を強化する必要がある（Web活用等） ◎初期投資軽減対策としてトレーニングファームの機能強化を推進 ◇就農計画作成者の支援10件(100%)、うち家族同席での相談実施（30%） ◆人・モノの両面から家族や親族の理解と協力が必須だが、同席での相談は限定的 ◎オーダーメイド型作成支援を継続し、かつ計画時の同席を推進 ◇受講生の確保人数(9名) ◆新規参入者の割合が高く、経営と受講の両立が困難な受講者が増加傾向 ◎年間研修計画及び入園対象者の見直し。個別支援制度として継続

(5) 多様な担い手の育成

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・かみつが農業女子加入者20名に増やします。また、交流会を2回以上開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇かみつが農業女子加入者（18名）交流会の開催（3回） ◆活動が多岐にわたりつつあり、運営を工夫する取組が必要 ◎引き続きイベント等を活用し、新規加入者を確保する。交流会は、かみつが農業女子の自主性を尊重しつつ支援を実施

(6) 交流拠点を核とした地域活性化

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用し、農産物をはじめとした上都賀地域の農業・農村の魅力を発信します。 ・農産物直売所等の運営支援と地域内の交流拠点等を活用した誘客促進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇SNS等を活用した情報発信（県Instagram 50件、農政部 X50件、直売所マップ 10,000部発行） ◇農産物直売所の運営支援（日光ブランド情報発信センター、農産直売所にこり） ◆計画的かつ継続的な情報発信に加え、話題性があり、消費者の関心が高い投稿が必要 ◎交流拠点施設を中心とした農村地域への誘客促進やSNS等を活用した情報発信の強化

(7) 交流・関係人口拡大による地域活性化

取組計画	◇成果 ◆課題 ◎今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・国内外から訪れる人の周遊や長時間滞在につながるよう地域の食の魅力を紹介します。 ・外国人を意識した情報発信と訪日観光客の受入意向のある組織等への支援を行います。 ・地域活性化組織の実態把握と「農」ある暮らしへの興味・関心を高める機会を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域資源を活用した周遊促進支援（かぬまブランド推進協議会、鹿沼そば振興会、日光市そば消費拡大推進協議会、鹿沼・日光おでかけマップ5,000部配布） ◇農泊推進のための体験・料理メニューの開発、農泊施設の改修（日光市1団体、体験メニュー開発支援5回） ◇地域活性化組織と地元高校生や都市部の若者との交流活動支援（鹿沼市加蘇地区） ◆新たな農泊地域の創出に向け、インバウンド需要への対応を踏まえた受入体制の支援が必要 ◎地域資源の磨き上げや観光事業者との連携等による新たな農村ビジネスの創出



いちご栽培体験会



農泊等の新たな農村ビジネス

Ⅲ 普及活動年度実績

1 高収量・高品質による野菜経営の向上

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：JA かみつが各野菜生産組織、管内野菜生産者、野菜栽培志向農家、JA かみつが等



さといも省力機械検討会

(1) 普及活動の経過

- ① にはら産地の維持発展に向けた検討
 - ・今後の産地を維持発展していくために、技担会議園芸部会で関係機関と進捗状況を共有した。
- ② にはら栽培技術高度化による多収安定生産とにはら栽培の省力化・分業化の検討
 - ・現地検討会や目揃会、集荷場掲示板を利用した栽培管理指導、JA と連携した個別巡回、省力化機械の実演会により、栽培管理技術の向上及び省力機械の導入推進を図った。
- ③ 高度環境制御によるトマト栽培の推進及び JA 全農とちぎ青果物広域集出荷センターの活用に適した品種の推進
 - ・重要病害虫（青枯病や黄化葉巻病等）の防除対策指導、環境制御技術や新たな品種「れおん」の単収を向上させるよう現地検討会を実施する等により栽培管理指導を行った。
- ④ 地域の特徴ある特産品目の安定生産（アスパラガス、ズッキーニ）
 - ・アスパラガス及びズッキーニにおいて、夏期の高温対策、病害虫防除や肥培管理等の栽培管理を指導した。
- ⑤ 水田土地活用野菜の定着・拡大推進（さといも、さつまいも、加工用馬鈴薯）
 - ・「さといもマルチ比較展示ほ見学会」や「さといも省力機械検討会」などの開催、ほ場整備計画及び実施地区への推進により、いも類の作付け推進を行った。
- ⑥ 高冷地ほうれん草の収益性向上
 - ・補助事業を活用し遮熱資材導入を支援するとともに、遮光率の違う資材を用いて株の充実等の効果の検討及び周知を行った。

(2) 普及活動の成果

- ① にはら産地の維持発展に向けた検討
 - ・今後の産地の課題について、課題や今後の対応策を整理し、関係者で認識の共通が図られた。
- ② にはら栽培技術高度化による多収安定生産、規模拡大支援
 - ・ウォーターカーテン、調整省力化機械の導入効果が生産者に理解され、ウォーターカーテン導入経営体数が 33 戸（前年産+2 戸）、調整省力化機械導入台数が 26 台（前年比+3 台）となった。
- ③ 高度環境制御によるトマト栽培の推進及び全農広域選果場の活用に適した品種の推進
 - ・高品質な生産物の安定出荷により、中核経営体数が 8 戸（前年産+1 戸）となった。
- ④ 地域の特徴ある特産品目の安定生産（アスパラガス、ズッキーニ）
 - ・アスパラガスは、病害虫防除及び適正な肥培管理を指導したことで、年間の単収が 1,387kg/10a (R2 基準年度+77kg/10a) となった。ズッキーニはホルモン剤の利用指導により高温期の着果促進が図られた。
- ⑤ 水田活用野菜の定着・拡大推進（さといも、さつまいも、加工用馬鈴薯）
 - ・さといも湛水栽培見学会や省力機械実演会の実施を継続してきたことで、日光のさといも作付面積が 258a（前年産+5a）に回復した。さつまいもの面積は減少したが、単収が 1.6t/10a（前年産 1.0t/10a）に向上した。加工用馬鈴薯は 1,765a（前年産+665a）に面積拡大した。
- ⑥ 高冷地ほうれん草の収益性向上
 - ・補助事業を活用し、6 戸が遮熱資材を導入した。

(3) 今後の方向・課題

- ・にはらは、基本技術の精度向上、暑熱対策、周年出荷に向けた作型の検討により、単収向上を図る。また、新規就農者及び研修生への支援により早期定着を図る。
- ・トマトは、資材・燃油価格高騰の影響を強く受けているため、現在の設備を効果的に利用し、生産者間で情報共有を促しながら単収の高位平準化に取り組む。また、新品種「れおん」の導入が進んでいるが、黄化葉巻病耐性品種ではないため、防除対策や耐性品種の導入検討を行う。
- ・アスパラガスは、安価で省力的な高温対策を検討し、高温の影響を抑制する。パッケージセンターを活用したモデル経営体を育成する。
- ・さといも、さつまいも及び加工用馬鈴薯は、高収益作物としてほ場整備計画及び実施地区等に作付推進し、新規栽培者を確保することで、産地拡大を目指す。
- ・高冷地ほうれん草は、主要病害虫対策指導と併せて、遮熱資材の導入支援や遮熱資材に適した栽培管理、品種比較試験による耐暑性品種の検討を継続する。

2 新品種・新技術の導入推進によるいちご・花き経営の向上

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：管内いちご生産者、上都賀地方いちご無病苗連絡協議会（増殖施設）、上都賀地方いちごリレー苗生産協議会、管内きらきら星部会員、施設花き生産者、JA かみつが、鹿沼市、日光市

（1）普及活動の経過

- ① いちご先進技術を活用した栽培管理の高度化による多収安定生産
 - ・JA かみつがいちご部青年部を対象に、基本技術の再点検等の支援を行うとともに、ICT 機器の活用促進による所得向上を図った。
- ② いちご新品種「とちあいか」の普及推進
 - ・新品種「とちあいか」は、R7 年産では 149 戸（前年産+11 戸）、30.4ha（前年産+3.4ha）で栽培された。生産者に対し、サポートチームを設置して栽培管理ポイントの指導を行った。
- ③ いちごリレー苗利用検討
 - ・「とちあいか」の普及推進のため、リレー苗（定植苗）を供給できる体制を整備した。
- ④ あじさい県育成八重咲品種の生産技術の確立
 - ・個別巡回を通して適切な管理を指導するとともに、高温時の育苗及び培養土組成の見直し等、生産技術の確立を図った。
- ⑤ 新技術導入による、安定生産の推進及び活用支援
 - ・施設花きの高温対策技術の確立のため、細霧冷房の効果的な動作条件の支援を行い、定例会等で情報提供を行った。

（2）普及活動の成果

- ① いちご先進技術を活用した栽培管理の高度化による多収安定生産
 - ・ICT 機器について、青年部等で導入メリットとデータの情報共有が図られたことにより、導入戸数が 42 戸（前年差+4 戸）となった。
- ② いちご新品種「とちあいか」の普及推進
 - ・新品種「とちあいか」は、マニュアルに基づく栽培管理を徹底したことにより、生産が安定し、いちご出荷量が向上したが、年内収量の確保が課題として残った。
- ③ いちごリレー苗利用検討
 - ・上都賀地方リレー苗生産協議会を支援し、管内苗生産者の協力の下「とちあいか」リレー苗約 2.1 万本が 5 名の生産者に供給され、「とちあいか」作付面積拡大に繋がった。
- ④ あじさい県育成八重咲品種の生産技術の確立
 - ・あじさい新品種は、各品種の特性理解が進み、栽培管理技術が確立されつつあり 26,000 鉢（前年産+2,000 鉢）が生産された。
- ⑤ 新技術導入による、安定生産の推進及び活用支援
 - ・各品目において高温対策実施の重要性に関する意識が高まり、技術導入戸数が 12 戸となった。

（3）今後の方向・課題

- ・いちごは、ICT 機器の活用促進や「とちあいか」の年内収量確保技術の検討・普及推進により、生産者の所得向上を図る。
- ・あじさいは、個別巡回指導を実施し、品質の高位安定化によるブランド化を図る。
- ・施設花きは、高温対策技術等の新技術の普及に向けた情報提供を継続する。



とちあいかの現地検討



細霧冷房の検討

3 優良品種・優良技術の普及、担い手の育成による稼げるなし産地の強化

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：JA かみつが梨部、同研究部、同婦人部、青年農業者、女性農業者、新規就農希望者

(1) 普及活動の経過

- ① 優良品種の普及による新たなブランドの創出
 - ・優良品種「甘太」の栽培面積拡大のため、導入に向けた説明会等を実施。また、現地検討や個別巡回により、着果管理指導及び収穫適期の周知など支援した。
- ② 優良技術の推進による園地の生産性向上、省力化技術による栽培環境の改善
 - ・十分な結実量を確保するため、効率的な花粉採取技術や花粉交配用ミツバチの適切な利用等について指導を行った。
 - ・JA なし部研究部と連携し、月別の管理ポイント資料を作成及び配布した。
- ③ 省力化技術による栽培環境の改善
 - ・「新一文字型整枝法」モデル園において現地検討会を開催し、優位性の周知を図った。
- ④ なし産地を担う人材の育成
 - ・青年農業者や女性農業者の学習機会の創出として、各種講習会への参加誘導や、視察研修会を行った。また、個別巡回を通じた指導により、人材育成を図った。

(2) 普及活動の成果

- ① 優良品種の普及による新たなブランドの創出
 - ・講習会や説明会等の開催を通じて同品種の優位性（単価高や高糖度）が認定され、優良品種「甘太」の栽培面積は約 2.8ha まで拡大した。
- ② 優良技術の推進による園地の生産性向上、省力化技術による栽培環境の改善
 - ・管理ポイント資料を配布し、発生が予想される気象災害や病害虫について早期に注意喚起を行ったことで、生産者が適切な対策を講じることができた。その結果、1戸当たりの系統販売金額は 800 万円を超えた。
- ③ 省力化技術による栽培環境の改善
 - ・平行整枝法の優位性が認知され、ジョイント栽培の面積が約 30a 増加した。
- ④ なし産地を担う人材の育成
 - ・青年農業者等の重点対象者の個別巡回や、各組織の研修会を実施したことで、青年農業者及び女性農業者の資質向上が図られた。

(3) 今後の方向・課題

- ・近年は開花期の前進による凍霜害や、高温による発芽不良樹・果肉障害果の発生、さらにハダニ類の被害増加など、気象変動に起因する問題が顕在化しており、安定した生産が難しい状況にある。そのため、これらの被害を軽減するための対策検討が求められている。
- ・作業の機械化が十分に進んでいない中、生産者の高齢化や労働力不足が進行しており、長時間作業が経営の大きな負担となっている。省力化技術の導入を推進し、労働生産性を向上させる取り組みが必要である。



「新一文字整枝法」の現地検討



婦人部視察研修会

4 収益性の高い土地利用型経営体の育成

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：大規模経営体、土地利用型経営体、水田露地野菜モデル産地、JA 大豆部会等

(1) 普及活動の経過

- ① 担い手のネットワーク化による農地集約化の推進
 - ・ 2市で担い手の地域計画（鹿沼市 19 地区、日光市 17 地区）が策定され、農地集積・集約化に向けた研修会等での支援を行った。
- ② 効率的な畦畔管理体制の調査研究・推進
 - ・ 農業生産法人やサービス事業体等、受託可能な組織の事例調査を行った。
- ③ スマート農業技術の普及拡大
 - ・ RTK 基地局の利用推進と活用状況の確認を行った。
- ④ 水田土地活用野菜の導入推進
 - ・ 上都賀地域“いも 3 兄弟”プロジェクトに基づき、実演会・見学会への参加誘導を行った。
- ⑤ 高品質・安定栽培技術の確立
 - ・ 水稻の品質向上を図るため、生育に合わせた栽培管理情報の提供を行った。
 - ・ 斑点米カメムシ類の適期防除推進のため、発生実態を把握する粘着トラップ調査（7 地点）や、すくい取り調査（24 地点）を行った。
 - ・ 高温登熟性の高い「とちぎの星」の生産拡大を推進するため、栽培マニュアルを更新した。
 - ・ R7 年産シュンライの単収・品質向上に向け、適期播種及び麦踏み、赤かび病防除のチラシを配布し、基本技術の励行を図った。
 - ・ 大豆の収量維持のため、根粒菌接種の実証展示ほを設置し効果検証を行った。



地域計画の先進地事例視察研修



斑点米カメムシ類の発生実態を把握

(2) 普及活動の成果

- ① 担い手のネットワーク化による農地集約化の推進
 - ・ 地域計画の実現に向けた研修会及び先進地視察を行い、地域の担い手や農地集積協力員等関係者の農地集積及び集約について意識が高まった。
- ② スマート農業技術の普及拡大
 - ・ 土地利用型農業の担い手 113 戸にスマート農業機器（主にドローン）が導入された。また、両市に RTK 基地局が設置されたことで、自動操舵機器や直進アシストシステム等が導入され、効率化が始まった。
- ③ 水田土地活用野菜の導入推進
 - ・ 土地改良事業計画地区の営農検討部会や新規栽培候補者にいも類（さといも、馬鈴薯、さつまいも）の推進を図り、新たに 2 経営体で作付が始まった。
- ④ 高品質・安定栽培技術の確立
 - ・ カメムシの吸汁や高温による白未熟粒の発生等品質低下の影響が懸念されたため、関係機関一体となって病虫害防除や適期収穫を啓発した。これにより、上都賀地区の R7 年産水稻うるち玄米は、一等米比率は 92.7%（県平均 88.0%）となり、R6 年産の 89.8%から向上した。

(3) 今後の方向・課題

- ・ 地域計画の実現に向けて、担い手等の農業経営の効率化を図るため、ほ場整備を契機としたスマート農業等の省力化技術導入を支援する。また、既に導入している経営体には状況に応じて新たな機器を推進する。
- ・ 土地改良区等を中心に高収益作物の導入を進めるとともに、既存の生産者に対して規模拡大に向けた省力化機械の導入を推進する。
- ・ 斑点米カメムシ類対策について、引き続き JA と連携して発生実態による防除の推進を行うとともに、高温登熟性の高い「とちぎの星」の作付推進を図る。

5 畜産生産基盤の強化と経営継続支援

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：和牛肥育部・繁殖部、畜産経営法人、畜産認定農業者等

(1) 普及活動の経過

- ① 畜産経営の生産性向上支援
 - ・和牛出荷子牛の販売価格向上のため、矢板子牛市場にて出荷成績に基づく技術指導や、超音波肉質診断を活用した肉質改善に向けた取組を支援した。
- ② 畜産経営の継続支援
 - ・経営移譲を検討する農家や、経営改善や規模拡大を志向する農家に対して経営相談を実施した。
 - ・臭気低減に向け、農場臭気マップを作成して対策指導を実施し、その効果を検証した。
- ③ 公共牧場の有効利用
 - ・牧草の給与前検査やカリ施用による放射性セシウムの吸収抑制対策を支援した。
 - ・獣害対策として、他地域の対策事例等の情報を提供するとともに効果的な対策について検討した。
- ④ 水田を活用した飼料作物の生産向上
 - ・WCS用稲の節水型乾田直播の調査ほを設置し、栽培管理について検討した。
 - ・地域の耕畜連携コーディネーターと連携し、次年度のWCS用稲の作付の推進を図った。



超音波肉質診断

(2) 普及活動の成果

- ① 畜産経営の生産性向上支援
 - ・子牛の日増体量は1.07kg程度（前年度+125g）まで上昇した。市場平均体重と同程度以上の子牛も増えた。
- ② 畜産経営の継続支援
 - ・第三者への経営移譲を希望する農家に対して、経営継承に向けた計画書の作成などを支援した。
 - ・臭気指数を地図上にマッピングすることで臭気の出所が明らかとなった。このため、その場所から臭いが拡散しないように臭気対策をとったことで、敷地境界における臭気が低減した。
- ③ 公共牧場の有効利用
 - ・今年度の管内公共牧場放牧利用面積は270ha（前年同）、主な公共牧場の放牧頭数は、前日光21頭、上栗山21頭、横川15頭、土呂部11頭、三沢原5頭であった。
 - ・前日光牧場では、例年より早い時期に猟友会の協力を得て鹿の捕獲を実施し、鹿の侵入を抑制した。
- ④ 水田を活用した飼料作物の生産向上
 - ・耕畜連携コーディネーターによる取組支援により、管内の飼料作物面積の確保を図った。
 - ・WCS用稲の節水型乾田直播の栽培は、作業の効率化が図れたが、残草が課題であることがわかった。



節水型乾田直播 播種作業

(3) 今後の方向・課題

- ・肉牛は、子牛の市場販売価格の向上に加え、肥育農家の枝肉重量増加に向けた取組を行うことで、所得向上を目指す。
- ・酪農は暑熱期の生産性を確保するための支援を行う。
- ・経営継承や規模拡大、法人化等を目指す農家に対し専門家等を派遣し、高度な支援を実施する。
- ・放射性物質対策（土壌中加里の分析・牧草給与前検査）を継続するとともに、獣害対策等を実施し、公共牧場の機能強化を図る。
- ・自給粗飼料生産組織の支援や省力化栽培技術に関する支援を行い、地域内の自給飼料の安定生産に向けて支援を行う。

6 次世代の地域農業をけん引する人材の確保・育成

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：就農希望者、研修生、新規就農者、生産組織、青少年クラブ員、高校生等

(1) 普及活動の経過

- ① 青少年への農業・農村の魅力発信
 - ・鹿沼南高校、農業士及び新規参入者等と連携し、農業の魅力発信のため講演会を開催した。
- ② 園芸産地と連携した就農研修制度の充実・強化
 - ・研修生を確保するため、HP や各種広報誌、県内外の就農相談会等を活用して体験会の周知や研修生の募集を行った。
 - ・先輩農業者とのネットワークを構築するため、研修生参加型現地検討会等を実施した。
- ③ 他産業で働く農家後継者を呼び込む活動の展開
 - ・管内のUターン農業者の事例紹介をHPに掲載するとともに、就農フェアなどの機会を捉えては冊子を配布することでUターンに関する情報を発信した。
 - ・市、関係機関と連携して就農相談を実施した。
- ④ 円滑な就農定着に向けたサポートの強化
 - ・重点指導対象者（10名）を選定し、リスク管理表による指導経過を共有するとともに、経営評価を活用し、個別の支援方策について検討を行った。
 - ・フレッシュファーマーアカデミーを開催（7回）し、農業の基礎知識に関する研修を実施した。
 - ・市、関係機関・団体と連携し、支援計画の作成とサポートチームによる個別巡回を実施した。
- ⑤ 青少年クラブの活性化に向けた支援強化
 - ・新規青少年クラブ員の確保、視察研修、各市及び地区事業の活動を支援した。

(2) 普及活動の成果

- ① 青少年への農業・農村の魅力発信
 - ・鹿沼南高校で開催した魅力発信講座を通じ、農業士、農業法人、個別経営体の協力を得て、農業の魅力を発信できた。
- ② 園芸産地と連携した就農研修制度の充実・強化
 - ・R7年度は鹿沼市でいちご2名、にら4名が研修を開始した。また、いちご、にら栽培体験会（計4回）を開催し、延べ17名が参加した。その結果、R8年度研修に3名の申込があった。
- ③ 他産業で働く農家後継者を呼び込む活動の展開
 - ・新規就農者（雇用就農者を含む）を30名確保した。
- ④ 円滑な就農定着に向けたサポートの強化
 - ・リスク管理表による評価検討の結果、新規就農者4名を継続指導することとした。
 - ・フレッシュファーマーアカデミーに9名が入園した。
 - ・サポートチームによる個別巡回を行い営農状況を確認し支援を実施した。
- ⑤ 青少年クラブの活性化に向けた支援強化
 - ・ニューファーマーカレッジ専門部等と合同で視察研修1回、座学研修1回を実施し経営感覚の向上に繋がった。



にら収穫体験会



地区青少年クラブ視察研修会

(3) 今後の方向・課題

- ・既存経営者への経営継続に関する意向調査等を通じて、Uターン就農者の早期支援と施設・機械・資材等の第三者継承に繋げる。
- ・研修生確保から経営開始後の早期安定まで、円滑な就農に向けた支援を継続する。
- ・地域の担い手候補となる雇用就農者の確保に向け、大規模農業生産法人への人材育成体制整備を支援する。

7 多様な担い手の確保と稼げる経営体の育成

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：認定農業者、法人化志向農業者、生産組織、6次産業化実践・志向農家、若手女性農業者、女性農業者、集落営農組織

(1) 普及活動の経過

① 経営高度化による個別経営体の育成

- ・意欲ある経営体をリスト化し、診断及びカルテ作成を行った。2経営体に対して専門家の個別派遣を実施した。
- ・農業経営相談会を開催するとともに、専門家を招へいし、経営相談を実施した（4件7名）。
- ・経営者意識を高めるため、令和の米騒動をテーマにした経営発展研修会を開催した（46名出席）。
- ・市と連携し、経営改善計画の作成と審査を支援した（計174件、内再認定146件、新規28件）。
- ・経営改善情報誌「Power up!!」を発行し（2回）、認定農業者等に配布した。
- ・6次産業化実践農家に対してセミナー等の情報提供、専門家派遣（1件）、新規事業相談（5名）を行った。

② 地域を担う女性農業者の確保・育成

- ・講座制研修「女性活躍の理解促進研修会基礎編」や「同活動編」を開催し、「かみつが農業女子」への加入推進するとともに、個別プロジェクトの支援を行った。

③ 次世代に向けた集落営農組織の連携・再編

- ・鹿沼市南押原地区内の5集落営農組織で「連携協定推進協議会」を実施（2回）し、組織の連携強化を図った。
- ・新たに法人化された日光市の（農）大室及び鹿沼市のKKCアグリテック（株）に対し、法人化後の運営支援を行った
- ・鹿沼市板荷地区、日光市荊沢地区のほ場整備推進協議会営農検討部会の話し合いに出席し、組織化推進を図った。
- ・地域の水田農業の担い手を目指す一般法人への農業参入支援を継続して実施した（2法人）。



経営相談会



経営発展研修会

(2) 普及活動の成果

① 経営高度化による個別経営体の育成

- ・「農業経営相談会」の開催や専門家と連携した個別支援を実施したことで、経営改善の方向性が明確化された。経営継承に関する相談2件に対応し円滑な継承に繋がった。
- ・経営改善情報誌や経営発展研修会を通して、認定農業者の経営者意識が向上した。

② 地域を担う女性農業者の確保・育成

- ・「かみつが農業女子」の交流や活動が活発化し、それぞれの課題解決に向けて個別プロジェクトが5件実施された。

③ 次世代に向けた集落営農組織の連携・再編

- ・集落営農連携組織及び新たな農業生産法人に対する運営支援を行うことで、組織としての経営管理力の強化に繋がった。
- ・一般法人への農業参入支援を通じて、将来の地域担い手確保が図られた。

(3) 今後の方向・課題

- ・関係機関等と連携し今後の経営に関する意向調査等の実施で、既存経営者への意識改革支援を図る。
- ・個別経営体及び規模拡大・法人化志向経営体等が抱える経営管理に関する課題について。経営相談会や専門家派遣制度の活用、研修会の開催等の多方面からの支援を継続する。
- ・ほ場整備事業等で組織化を必要としている地域を重点支援対象とし、組織化及びその後の運営支援を行う。
- ・6次産業化を志向する経営体に、研修会や商談会等について情報提供し、継続的に支援する。
- ・「かみつが農業女子」のプロジェクト活動についてのフォローアップと引き続き加入推進を行う。

8 持続可能な地域農業の構築

対象地区：鹿沼市、日光市

対象名：JA生産組織、直売所運営組織、JAかみつが、鳥獣害被害農家、市野生鳥獣害対策協議会、認定農業者、生産組織、有機農業者、市グリーン農業推進協議会

(1) 普及活動の経過

- ① 野生鳥獣による農作物の被害軽減
 - ・市鳥獣被害防止対策協議会による鳥獣被害防止柵の設置及びくくりわな・箱わなの整備や設置を支援した。
 - ・水稻、露地野菜、果樹、コンニャク等の農家を巡回し獣害（イノシシ、ハクビシン、シカ等）の被害状況と対策を行い支援した。
- ② とちぎグリーン農業の推進（みどりの食料システム戦略の推進）
 - ・上都賀地方農業振興協議会農業技術担当者連絡部会担い手育成専門部会議（6/30、3/3）において、市や関係機関との連携を図るとともに、市グリーン農業推進協議会の活動について支援した。
 - また、管内の有機栽培の実態を把握するため有機農業実態調査を行い、市協議会と情報共有を図った。
 - ・農業経営情報誌「Power Up!!」に「みどり認定」の記事を掲載し、農業者への周知を図るとともにJA生産組織等への個別推進を行った、
 - ・今年度はクマの被害が拡大し管内でも人的被害があり事務所ホームページに啓発資料（12月）を掲載した。



鳥獣害対策(クマ)研修会(12/1)



環直事業日光市抽出検査(12/23)

(2) 普及活動の成果

- ① 野生鳥獣による農作物の被害軽減支援
 - ・今年度は鹿沼市において鳥獣被害防止柵 8,240m、箱わな 20 基、くくりわな 20 基、日光市において鳥獣被害防止柵 2,850m、箱わな 5 基、くくりわな 65 基を整備した。
 - ・水稻、露地野菜、果樹、コンニャク等の農家を巡回し獣害（イノシシ、ハクビシン、シカ等）の被害状況の把握と対策を支援した。
- ② とちぎグリーン農業の推進（みどりの食料システム戦略の推進）
 - ・グリーン農業について理解促進が図られ、両市において市推進体制が整備された。鹿沼市は1月、日光市は3月に推進協議会を開催した。
 - ・みどりの食料システム法に基づくみどり認定について個別認定1件、グループ認定1件、計6件（累計130名）認定され、環境負荷低減事業活動の意識向上が進んだ。

(3) 今後の方向・課題

- ・2市の野生鳥獣害対策協議会と連携しながら、被害の情報を共有化し、対策と支援を継続して行う。
- ・市の振興計画との整合性を図りながら、とちぎグリーン農業推進方針に向けて、市グリーン農業推進協議会及び上都賀地域グリーン農業サポートチームを計画的に開催する。
- ・「みどり認定」について、JA生産組織への個別推進及び経営改善情報誌等による農業者への周知を図る。

IV 各種コンクール等受賞者一覧

1 全国関係

コンクール等名	受賞区分	受賞者	
		氏名	市町名
第27回全農肉牛枝肉共励会	名誉賞	町井 一貴	鹿沼市
第74回関東東海花の展覧会花き品評会	金賞 (農林水産省農産局長賞)	松島 清文	鹿沼市
第56回全国花き品評会	金賞 (農林水産省農産局長賞)	福田 桂祐	日光市
第56回全国花き品評会	金賞 (日本花き生産協会会長賞)	谷澤 清三	日光市
令和7年度関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰	最優秀賞 (関東農政局長賞)	磯町の自然を守る会	鹿沼市

2 県関係

コンクール等名	受賞区分	受賞者	
		氏名	市町名
令和7年度栃木県花の展覧会	農林水産大臣賞	谷澤 清三	日光市
令和7年度栃木県こんにやく立毛共進会	農林水産大臣賞	大貫 幸男	鹿沼市
	栃木県知事賞	牧島 俊男	鹿沼市
令和7年度栃木県シクラメン&冬の鉢花展覧会	栃木県知事賞	吉原 祐樹	日光市
第52回とちぎ和牛枝肉共励会	栃木県知事賞	町井 一貴	鹿沼市

3 表彰事業

コンクール等名	受賞区分	受賞者	
		氏名	市町名
令和7年度大日本農会農事功績者表彰	緑白綬有功章	沼尾 一郎	日光市

V 上都賀地方の農業・農村の動き

1 農地等の状況

(1) 耕地等面積

(単位：ha・%)

区分 市町名	総土地面積 (A)	耕地面積			耕地率 (B) / (A)
		田	畑	計 (B)	
鹿沼市	49,064	3,940	1,480	5,420	11.0
日光市	144,983	4,040	1,220	5,260	3.6
地区計	194,047	7,980	2,700	10,680	5.5
県計	640,809	93,500	26,600	120,100	18.7
地区計 / 県計	30.3	8.5	10.2	8.9	

資料：総土地面積は国土交通省国土地理院「令和8年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」
耕地面積は農林水産省「統計調査（令和7年耕地面積）」

(2) 農業振興地域

(単位：ha・%)

区分 市町名	農振地域 総面積 (A)	うち 農地面積	農用地						混牧 林地	農業用 施設用 地面積	混牧 林地 以外の 山林 原野	その他	農用地 設定率 (B) / (A)
			農地				採草 放牧地	計 (B)					
			田	畑	樹園地	計							
鹿沼市	12,174	5,550	3,857	1,513	180	5,550	60	5,610	0	42	3,533	2,989	46
日光市	13,901	5,595	4,117	1,427	52	5,595	845	6,440	0	14	4,398	3,049	46
地区計	26,075	11,145	7,974	2,940	232	11,145	905	12,050	0	56	7,931	6,038	46
県計	285,707	124,756	92,363	29,855	2,539	124,756	1,998	126,754	50	876	76,301	81,726	44

※ 令和6年12月31日現在

資料：令和6年 確保すべき農用地等の面積の目標の達成状況調査

(3) 農地の動き

① 農地法第3条

(単位：ha)

年度 市町名	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鹿沼市	128	75.6	134	78.9	141	93.4	160	112.8	208	130.6	190	112.2
日光市	67	84.4	79	74.7	74	58.1	70	72.5	75	58.9	40	13.6
地区計	195	160.0	213	153.6	215	151.5	230	185.3	283	189.5	230	125.8
県計	2,754	2,162.0	2,865	2,398.7	3,094	2,297.2	3,469	2,845.0	3,209	2,322.1	3,801	2,302.9

資料：農地権利移動・借地等調査

② 転用面積

(単位：ha)

年度 市町名	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鹿沼市	226	24.7	303	40.4	207	17.2	308	46.5	283	43.1	255	30.3
日光市	62	5.9	62	5.6	78	10.0	76	12.1	51	3.6	49	5.4
地区計	288	30.6	365	46.0	285	27.2	384	63.6	334	46.7	304	35.7
県計	4,037	377.0	3,500	347.0	3,827	364.0	3,559	362.3	3,370	334.0	3,448	305.9

資料：農地権利移動・借地等調査

③ 利用権設定面積

(単位：ha)

年度 市町名	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
鹿沼市	236	120.2	223	105.2	170	84.3	186	90.6	239	123.5	172	76.6
日光市	374	254.5	371	271.3	284	199.2	271	182.9	223	206.0	434	290.5
地区計	610	374.7	594	376.5	454	283.5	457	273.5	462	329.5	606	367.1
県計	11,409	5,677.0	9,801	5,294.0	10,612	4,715.0	11,625	5,937.9	11,150	6,153.1	12,193	6,185.4

資料：農地権利移動・借地等調査

④ 担い手への農地集積率

(単位：%)

年度 市町名	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
鹿沼市	31	34	36	37	38	44	45	45	46	48	49	52
日光市	32	36	38	41	41	41	42	41	42	44	45	47
地区計	32	35	37	39	39	43	44	43	44	46	47	50
県平均	40	43	47	49	51	52	53	52	52.7	52.7	54.5	56.8

資料：担い手及びその農地利用の実態に関する調査

(4) ほ場整備の実施状況

(単位：ha、%)

市町名	ほ場整備実施状況							水田整備率※ 上段：20a以上 下段：30a以上
	対象面積	実施面積（上段：20a以上、下段：30a以上）						
		平成27年度 まで	(未集計)	(未集計)	(未集計)	(未集計)	計	
		令和3年度 まで	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
鹿沼市	3,361.7	2,446.0	-	-	-	-	2,446.0	72.8
		2,257.7	0.0	0.0	13.1	集計中	2,270.8	67.5
日光市	3,129.3	1,113.0	-	-	-	-	1,113.0	35.6
		1,110.2	0.0	29.8	12.4	集計中	1,152.4	36.8
管内計	6,491.0	3,559.0	-	-	-	-	3,559.0	54.8
		3,367.9	0.0	29.8	25.5	集計中	3,423.2	52.7
県計	81,057.7	58,464.0	-	-	-	-	58,464.0	72.1
		56,015.9	134.2	139.1	95.4	集計中	56,384.6	69.6

※ 整備率は、平成28年度から30a以上に見直し。

(5) 農業集落排水事業の実施地区一覧

(単位：人)

市町名	地区名	処理対象人口	工期	共用開始年月
鹿沼市	北半田	1,120	平成2～6年	平成6年9月
鹿沼市	下南摩	1,320	平成6～10年	平成10年4月
鹿沼市	酒野谷	1,030	平成8～12年	平成12年4月
鹿沼市	菊沢西	1,480	平成15～20年	平成20年4月

(6) 農道、集落道の整備状況

舗装完了延長（単位：m）

区分	市町名	令和3年度 まで	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
県営事業	広域農道	鹿沼市	-	-	-	-
		日光市	19,170	-	-	-
	ふるさと農道	鹿沼市	9,659	-	-	-
		日光市	9,340	-	-	-
	ほ場整備	鹿沼市	447	-	-	-
		日光市	650	-	-	-
団体営事業	農道整備	鹿沼市	4,975	-	-	-
		日光市	10,162	282	-	382

2 農家等の状況

(1) 農 家

① 総農家戸数

(単位：戸・%)

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年
鹿沼市	4,598	4,171	3,830	3,325	2,782	2,365
日光市	3,102	2,912	2,656	2,264	1,923	1,608
地区計	7,700	7,083	6,486	5,589	4,705	3,973
県計	77,532	71,510	64,344	55,446	46,202	38,802
地区計 / 県計	9.9	9.9	10.1	10.1	10.2	10.2

資料：農林業センサス

② 主業農家

(単位：戸・%)

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年
鹿沼市	850	797	643	520	400	343
日光市	385	385	311	252	243	232
地区計	1,235	1,182	954	772	643	575
県計	14,159	12,980	11,015	8,883	7,417	6,177
地区計 / 県計	8.7	9.1	8.7	8.7	8.7	9.3

資料：農林業センサス（平成7年までは総農家戸数の内数、平成12年以降は販売農家戸数の内数、令和2年以降は農業経営体数の内数）

③ 販売農家

(単位：戸・%)

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年
鹿沼市	3,879	3,233	2,769	2,314	1,843	1,433
日光市	2,575	2,245	1,970	1,656	1,360	1,116
地区計	6,454	5,478	4,739	3,970	3,203	2,549
県計	65,042	56,016	47,840	39,810	31,993	25,240
地区計 / 県計	9.9	9.8	9.9	10.0	10.0	10.1

※ 販売農家：経営耕地面積が30a又は農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

資料：農林業センサス

④ 農産物販売金額規模別経営体数

(単位：経営体、%)

市町名	計	販売なし	50万円未満	50～100万円	100～300万円	300～500万円	500～1000万円	1000～3000万円	3,000万円以上	1,000万円以上比率
鹿沼市	1,501	124	317	261	300	107	136	189	67	17.9
日光市	1,148	60	253	213	298	119	87	79	39	11.4
地区計	2,649	184	570	474	598	226	223	268	106	15.1
県計	25,917	1,191	4,862	4,378	6,294	2,397	2,585	2,894	1,316	17.1

資料：2025年農林業センサス

⑤ 経営耕地面積規模別販売農家数

(単位：戸、%)

市町名	計	0.3ha未満	0.3ha～0.5ha	0.5ha～1.0ha	1.0ha～2.0ha	2.0ha～5.0ha	5.0ha～10ha	10ha～20ha	20ha以上	5.0ha以上比率
鹿沼市	1,501	65	154	369	462	342	65	28	16	7.3
日光市	1,148	34	102	252	293	323	76	35	33	12.5
地区計	2,649	99	256	621	755	665	141	63	49	9.6
県計	25,917	729	2,404	5,326	6,695	6,852	2,162	1,101	648	15.1

資料：2025年農林業センサス

(2) 栃木県農業士等の認定状況

(単位：人)

市町名	農業士		女性農業士		名誉農業士		計	
	うち令和7年度		うち令和7年度		うち令和7年度		うち令和7年度	
鹿沼市	20		5		15		40	
	0		0		0		0	
日光市	10		3		13		26	
	0		0		0		0	
地区計	30		8		28		66	
	0		0		0		0	
県計	204		82		290		576	
	14		0		10		24	

※令和8年4月時点

上都賀農業振興事務所、経営技術課調べ

(3) 新規就農者

(単位：人、%)

市町名	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
鹿沼市	12 (5)	11 (3)	18 (2)	17 (3)	13(7)
日光市	7 (2)	11 (1)	8 (3)	7 (2)	7(3)
地区計	19 (7)	22 (4)	26 (5)	24 (5)	20(10)
県計	193 (129)	226 (144)	234 (116)	241 (122)	209(126)
地区計 / 県計	9.8	9.7	11.1	10.0	9.6

※ () は外数で雇用就農者数

上都賀農業振興事務所、経営技術課調べ

(4) 集落営農組織数

(単位：件)

市町名	令和3年	令和4年3月末	令和5年3月末	令和6年3月末	令和7年3月末	令和8年3月末
鹿沼市	19 (1)	19 (1)	12 (1)	12 (1)	12 (1)	12(2)
日光市	11 (4)	11 (4)	8 (3)	8 (3)	9 (4)	9(5)
地区計	30 (5)	30 (5)	20 (4)	20 (4)	21 (5)	21(7)
県計	241 (56)	247 (57)	236 (59)	230 (61)	234 (65)	集計中

※1 令和5年度から調査方法の変更あり(人農地プランへの記載のない集落営農法人を除く)

※2 () は内数で法人数

経営技術課調べ

(5) 農業経営改善計画の認定状況(認定農業者数)

(単位：件)

市町名	令和3年3月末		令和4年3月末		令和5年3月末		令和6年3月末		令和7年3月末	
	法人	共同申請	法人	共同申請	法人	共同申請	法人	共同申請	法人	共同申請
鹿沼市	456		444		442		443		430	
	24	21	25	19	26	19	28	17	28	17
日光市	270		275		274		282		274	
	22	16	23	22	24	24	24	23	26	24
地区計	726		719		716		725		704	
	46	37	48	41	50	43	52	40	54	41
県計	7,672		7,575		7,632		7,644		7,450	
	471	763	493	781	506	809	546	832	560	794

※ 法人、共同申請は内数

上都賀農業振興事務所、経営技術課調べ

(6) 家族経営協定の締結状況

(単位：件)

市町名	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	累計
鹿沼市	1 (0)	6 (1)	4 (0)	9 (0)	11 (1)	205
日光市	2 (2)	4 (1)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	144
地区計	3 (2)	10 (2)	4 (0)	10 (0)	15 (1)	349
参考：県内締結数 (総数)	3,952	4,013	4,068	4,152	集計中	

※1 各市及び地区計は、各年の新規締結件数と累計締結数

※2 () は締結内容見直し件数

※3 参考：県内締結数(総数)は、県内で締結されている協定の総数

(7) GAP認証の取得状況

① GAP認証取得数

上都賀農業振興事務所、経営技術課調べ

(単位：件)

市町名	GLOBALG. A. P.	ASIAGAP	JGAP	とちぎGAPの 第三者確認
	経営体数	経営体数	経営体数	経営体数
鹿沼市	1	0	2	3
	1	0	2	3
日光市	0	0	1	1
	0	0	1	1
地区計	1	0	3	4
	1	0	3	4
県計	6	2	32	40
	6	2	36	44

※ 令和8年1月末時点

※ 令和10(2028)年にASIAGAPはJGAPと統合予定

②とちぎGAP第三者確認一覧

上都賀農業振興事務所、経営技術課調べ

(単位：件)

認証名	市町名	取得経営体・団体名	経営体数
とちぎGAPの第三 者確認証	鹿沼市	株式会社フレッシュ園渡辺 代表取締役 渡邊 優樹	1
		上都賀農協梨部とちぎGAP取得研究会	9
		ベリーズファン代表 鈴木 康介	1
		手塚 清	1
		佐藤 知之	1
		濱崎 真知 (はまさきいちご園)	1
	日光市	半田 耕一	1
		小倉 由紀子	1

※ 令和8年3月末時点

※ とちぎGAPの第三者確認は令和8(2026)年3月末で終了(令和7年度認定組織は2年間有効)

(8) みどり認定の取得状況

上都賀農業振興事務所、経営技術課調べ

(単位：件)

	市町名	認定年月	認定者(団体)名	品目	経営体数
1	鹿沼市	令和5年7月4日	江俣 伸一	いちご	1
2		令和6年12月11日	上都賀農協梨部	なし	19
3		令和7年3月7日	根本 修也	トマト	1
4		令和7年3月14日	KKCアグリテック株式会社	水稻	1
5		令和7年3月14日	株式会社磯町アグリサポート	水稻	1
6		令和7年12月9日	土屋祥一、麻耶	いちご	1
7		令和8年2月2日	JAかみつがりんご部	りんご	5
8	日光市	令和5年9月8日	福田 隆夫	りんどう	1
9		令和5年9月25日	石川 正夫	いちご	1
10		令和6年3月6日	JAかみつが日光にら専門部会	にら	34
11		令和6年3月28日	小林地区玉ねぎ生産組合	たまねぎ	7
12		令和6年5月13日	JAかみつが日光なす専門部会	なす	16
13		令和6年12月3日	JAかみつが日光花き部会	花き	15
14		令和6年12月5日	株式会社日光ストロベリーパーク	いちご	1
15		令和7年2月14日	JAかみつが日光アスパラガス専門部会	アスパラガス	15
16		令和7年3月31日	JAかみつが日光ズッキーニ専門部会	ズッキーニ	10
鹿沼市計					29
日光市計					100
地区計					129
県計					1,975

※ 令和8年1月末時点

(9) 農業者組織の状況

組 織 名	会 員 数	会 長	副 会 長	備 考
地区農業者懇談会	-	田中 一広	-	
上都賀地区農業士会	46	福田 一夫	福田 清文 安生 芳子	会計：伊藤 金治 渡邊 毅 ※農業士30人、女性8人、 名誉8人
鹿沼市農業士会	25	伊藤 金治	-	※農業士20人、女性5人
日光市農業士会	25	渡邊 毅	-	※農業士10人、女性3人、 名誉12人
上都賀地区認定農業者協議会	303	齋藤 雅人	福田 茂輝	
鹿沼市認定農業者協議会	165	福田 茂輝	渡邊 宏幸 岡田 和浩	
日光市認定農業者協議会	138	齋藤 雅人	池田 雄一 菅沼 宏成	
上都賀地方青少年クラブ協議会	20	石澤 大空	-	
鹿沼市青少年クラブ協議会	11	石澤 大空	-	
日光市青少年クラブ協議会	9	宮本 大暉	-	
国際農友会上都賀支部	17	山中 橘男	神山 卓也	
上都賀地区 農村生活研究グループ協議会	47	早乙女 八重子	吉原 静枝	事務局長：和久井 房子 会 計：大塚 千枝子 石川 昌子
鹿沼市農村生活研究 グループ協議会	24	早乙女 八重子	坂巻 直美	
日光市農村生活研究 グループ協議会	23	吉原 静枝	石川 昌子	
上都賀地区農村女性会議	12組織	高橋 敏子	神山 茂子 若林 きく	事務局長：吉原 静恵 会 計：沼尾 晴美 福田 登美子

※ 令和7事業年度

3 農業生産等の状況

(1) 水 稲

(単位：ha、t、%、kg/10a)

市 町 名	作付面積（子実用）					収穫量（子実用）					10aあたり収量				
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
鹿沼市	20,000	1,810	1,930	1,980	2,070	10,100	8,990	10,000	10,200	10,700	507	497	520	514	517
日光市	2,230	2,060	2,100	2,150	2,490	11,600	10,300	11,100	11,200	13,100	518	499	528	522	528
地区計	22,230	3,870	4,030	4,130	4,560	21,700	19,290	21,100	21,400	23,800	/				
県 計	54,800	50,800	51,400	53,000	60,000	300,900	270,300	284,200	286,200	327,000					
県計に占める地区計の割合	40.57	7.62	7.84	7.79	7.60	7.21	7.14	7.42	7.48	7.28					
県 (作況指数)											549 (101)	532 (97)	553 (104)	540 (101)	-

資料：農林水産省「作物統計調査（水稲）」

(2) 麦

① 麦類計

(単位：ha、t、%)

市 町 名	作 付 面 積					収 穫 量				
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
鹿沼市	191	225	223	218	223	655	528	666	371	462
日光市	39	44	44	43	55	132	93	140	84	130
地区計	230	269	267	261	278	787	621	806	455	592
県 計	12,622	12,716	12,811	12,772	12,299	48,057	45,038	49,130	43,867	44,335
県計に占める地区計の割合	1.82	2.12	2.08	2.04	2.26	1.64	1.38	1.64	1.04	1.34

資料：農林水産省「作物統計調査（麦類）」

② 六条大麦

(単位：ha、t、%)

市 町 名	作 付 面 積					収 穫 量				
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
鹿沼市	191	205	216	218	217	655	490	644	371	445
日光市	39	44	44	43	53	132	93	140	84	125
地区計	230	249	260	261	270	787	583	784	455	570
県 計	1,640	1,690	1,720	1,670	1,610	4,580	4,230	5,070	3,490	3,930
県計に占める地区計の割合	14.02	14.73	15.12	15.63	16.77	17.18	13.78	15.46	13.04	14.50

資料：農林水産省「作物統計調査（麦類）」

③ 小麦

(単位：ha、t、%)

市町名	作付面積					収穫量				
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
鹿沼市	x	7	7	x	6	x	16	22	x	17
日光市	x	x	x	x	2	x	x	x	x	5
地区計	x	7	7	x	8	x	16	22	x	22
県計	2,290	2,380	2,480	2,610	2,480	8,060	8,690	8,630	9,030	9,350
県計に占める地区計の割合	-	0.29	0.28	-	0.32	-	0.18	0.25	-	0.24

※1 x：統計数値が公表されていない

※2 -：計算不可

資料：農林水産省「作物統計調査（麦類）」

(3) 大豆

(単位：ha、t、%)

市町名	作付面積					収穫量				
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
鹿沼市	x	42	53	41	53	x	76	80	50	96
日光市	83	89	90	91	93	136	174	118	120	173
地区計	83	131	143	132	146	136	250	198	170	269
県計	2,350	2,510	2,630	2,630	2,390	3,480	4,690	3,550	3,310	4,250
県計に占める地区計の割合	3.53	5.22	5.44	5.02	6.11	3.91	5.33	5.58	5.14	6.33

※ x：統計数値が公表されていない

資料：農林水産省「作物統計調査（大豆）」

(4) そば

(単位：ha、t、%)

市町名	作付面積					収穫量				
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
鹿沼市	317	343	382	406	533	250	297	236	203	410
日光市	386	402	457	446	622	305	323	277	232	448
地区計	703	745	839	852	1,155	555	620	513	435	858
県計	3,090	3,280	3,450	3,430	3,580	2,130	2,760	2,240	1,820	2,790
県計に占める地区計の割合	22.75	22.71	24.32	24.84	32.26	26.06	22.46	22.90	23.90	30.75

資料：農林水産省「作物統計調査（そば）」

(5) 畜産

(単位：戸、頭、羽)

市町名	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数
鹿沼市	16	762	29	2,743	7	3,533	13	137,906
日光市	13	1,195	24	1,192	11	19,871	12	531,955
地区計	29	1,957	53	3,935	18	23,404	25	669,861

※ 令和7年2月1日時点

資料：家畜伝染病予防法第12条の4に基づく定期報告

(6) 放牧場の概要

(単位：ha、頭)

放牧場名	対象畜種	所在市町	所有者	管理者	総面積	供用牧草地面積	放牧頭数 (令和7年)
前日光牧場	乳用牛 肉用牛	鹿沼市	鹿沼市	前日光牧場 管理組合	70.0	47.0	21
栃酪大笹牧場	乳用牛	日光市	栃木県酪農業 協同組合	同 左	363.0	306.0	352
酪農とちぎ小林放牧場	乳用牛	日光市	酪農とちぎ 農業協同組合	同 左	25.0	22.0	56
日光市横川牧場	肉用牛	日光市	日光市	同 左	52.0	48.8	15
日光市上栗山牧場	肉用牛	日光市	日光市	同 左	59.8	59.8	21
日光市土呂部牧場	肉用牛	日光市	日光市	同 左	18.7	18.7	11
日光市三沢原 人工授精施設牧場	肉用牛	日光市	日光市	同 左	10.0	10.0	5
日蔭三本檜牧場	肉用牛	日光市	日蔭和牛 改良組合	同 左	61.5	40.8	利用自粛

※ 令和8年3月時点

栃木県畜産振興課調べ

(7) 水産(漁業協同組合数)

市町名	漁業協同組合数
鹿沼市	5
日光市	7

※ 令和8年3月時点

上都賀農業振興事務所調べ

4 農産物等認証状況

(1) とちぎの地産地消推進店認定及び登録状況

① 料理店

登録日	申請店舗	申請者氏名	住所	電話番号	地産地消メニュー
平成23年8月1日	炭火焼肉おおつか	大塚 進	鹿沼市西茂呂3-52-12	0289-60-7530	とちぎ和牛霜降セット、 トマトサラダ
平成23年8月1日	小百田舎そば	我妻 一巳	日光市小百167	0288-21-7232	そば、天ぷら
平成23年8月1日	小代行川庵	矢野 利夫	日光市小代371	0288-27-3535	もりそば、にらそば、 そばだんご
平成23年8月1日	観世音そば下の家	半田 耕一	日光市岩崎1032-5	0288-27-3000	そば、季節のてんぷら、 そばゼリー
平成23年12月1日	日光のイタリアン トライフル	高島 弘和	日光市土沢1538-4	0288-25-7448	ミネストローネ、日光トマト サラダ、日光唐辛子の辛いト マトソースパスタ等
平成24年6月1日	(株)あさやホテル (鬼怒川温泉あさや)	八木澤 哲夫	日光市鬼怒川温泉滝813	0288-77-1111	米、そば、 かんぴょうの味噌汁、 やしおますのカルパッチョ等
平成25年2月1日	そば処 山帰来	星野 光広	日光市南小来川395-1	0288-63-2121	もりそば半割・二八、ゆばそ そば、辛み大根おろしそば、 季節の野菜てんぷら
平成25年7月1日	かめま手づくりの里 そば処 久我	青柳 秀男	鹿沼市上久我27-1	0289-65-8787	そば、天ぷら、にらそば
平成25年8月1日	(有)花農場あわの	若林 ふみ子	鹿沼市中粕尾423	0289-83-7787	地元産野菜のパスタ、 ハーブティ、 シフォンケーキ等
平成26年3月1日	玄そば 文石庵	齋藤 正彦	鹿沼市茂呂287-1	0289-76-0093	もりそば、舞茸の天ぷら、 舞茸汁そば、 にらアトにらそば
平成27年7月1日	鬼怒川温泉ホテル 石窯ダイニング ・楽炎	-	日光市鬼怒川温泉滝545	0288-77-0025	サラダ、ヤシオマスの刺身 他
平成28年6月1日	株式会社三たてそば 長畑庵	柴田 尚俊	日光市長畑635-1	0288-27-2488	もりそば、ざるそば、 かけそば
平成29年6月1日	中禅寺金谷ホテル	増子 陽	日光市中宮祠2482	0288-51-0002	栃木県産グリーンアスパラと那須ど り春野菜添えクリームチーズと粒マ スターソース
平成29年7月1日	ペンション トロールの森	渡邊 良明	日光市所野1541-1395	0288-53-1007	ニジマスの和風ムニエル、 ヤマメのカラ揚げ、 栃木県もち豚のソテー
平成29年7月1日	里山カフェ c h i k i	沼尾 富二夫	鹿沼市下沢554	0289-78-4873	スープ、サラダ、キッシュ (ほーれん草、ズッキーニ、 カボチャetc.)
平成29年7月1日	おこんにやく茶屋	大島 由紀	鹿沼市銀座1-1870-1	0289-60-6070	こんにやくメニュー
平成29年7月1日	民宿 しんこう苑	吉原 徳	日光市木和田島2112-7	0288-26-0817	ゆめポークのトンカツ 鮎の塩焼き (イワナ)
平成29年8月1日	ペンション はじめのいっぼ	波多江 定夫	日光市所野1541-2371	0288-53-2122	和豚もちぶたのしゃぶしゃ ぶ、ニジマスの塩焼き、 ムニエル、野菜の煮物
平成29年8月1日	日光くじら食堂	上野 秀幸	日光市久次良町238-6	0288-53-2206	ふわとろたまごの和風、日 光産入り和風カルパッチョ、野 菜たっぷり和風パスタ
平成29年8月1日	イル・プラート	齋藤 貴生	日光市木和田島1373-290	0288-32-2332	木の子のリゾット、 野菜のパスタ
平成29年8月1日	メープル レストラン	福田 政行	日光市中宮祠2482	0288-55-0713	とちぎ和牛ビーフシチュー、 ヒメマスのムニエル
平成29年9月1日	カフェ サロン・ド・テ・オカ	福田 純一	日光市鬼怒川温泉滝525	0288-77-0657	大田原産牛ハンバーグ、 日光霧降高原牛ビーフカレー
平成29年9月1日	ペンション 森のうた	鈴木 義成	日光市久次良町100	0288-53-0465	栃木県産食材を使用した 「フルコースメニュー」

登録日	申請店舗	申請者氏名	住所	電話番号	地産地消メニュー
平成29年10月1日	自然茶寮 廻	山口 雅宏	日光市中鉢石町909-1	080-9343-0831	汲み上げ生ゆば包みごはん 有機栽培トマトとアボガドの ユッケ風ごはん
平成30年12月1日	仲まち家	小林 一三	鹿沼市仲町1604-1	0289-62-7550	和牛カレーライス
令和元年6月1日	鬼怒川プラザホテル	庄田 哲康	日光市鬼怒川温泉滝 530	0288-76-1031	しゃぶしゃぶ野菜、 日光湯波しゃぶ、桜山豚角煮
令和2年10月1日	TRATTORIA IL DADO	神山 純一	鹿沼市西茂呂3-2-2	0289-78-0285	もち豚料理、 栃木県産牛肉料理、 鹿沼産トマトのパスタ
令和2年10月1日	Robacica (ロバシカ)	大島 英昌	鹿沼市銀座1-1878 イヤノビル1階	070-2169-4069	県産の野菜を使用した炉端焼 き
令和2年10月1日	けっこう漬本舗 森友バイパス店	福田 徹	日光市森友838-1	0288-22-9191	そば、天ぷら
令和2年10月1日	けっこう漬本舗 今市インター店	福田 徹	日光市平ヶ崎390-2	0288-22-3197	そば、天ぷら
令和3年7月1日	鬼怒川 グランドホテル 夢の季	波木 恵美	日光市鬼怒川温泉 大原1021	0288-77-1313	しゃぶしゃぶ、天ぷら、湯波 等
令和3年10月1日	ザ・リッツ・ カールトン 日光	早坂 心吾	日光市中宮祠2482	0288-25-6666	海老原ファームのグリーンサラダ、 大滝日光サモ押し寿司、 足利マル牛のロースト
令和3年10月1日	静寂とまごころの宿 七重八重	奥村 徳三郎	日光市鬼怒川温泉 大原1060	0288-77-2222	霧降高原牛又はとちぎゆめ ボークのしゃぶしゃぶ、 干瓢とサモンの日光湯波巻サテ ー
令和3年11月1日	日光千姫物語	根元 芳彦	日光市安川町6-48	0288-54-1010	とちぎ和牛のしゃぶしゃぶ、 とちぎ和牛のステーキ、とち ぎ和牛の湯波つつみ焼き
令和4年1月1日	近江屋	大貫 譲	鹿沼市深程472-1	0289-85-2537	豚ロースステーキ定食、 ロースとんかつ定食、 豚の生姜焼き定食
令和5年1月1日	日光金谷ホテル	丸山 真人	日光市上鉢石1300	0288-54-0001	日光虹鱈のソテー 金谷風
令和5年1月1日	鬼怒川パークホテルズ	小野 真	日光市鬼怒川温泉 大原1409	0288-77-1289	とちぎ和牛三種食べ比べ陶板焼 き、桜山豚と野菜の陶板焼き、 那須地鶏と野菜の陶板焼き
令和5年9月1日	そば処 やしお庵	北岡 隆史	鹿沼市入栗野994-2	0289-86-7666	天もりそば(うどん)、にらそば (うどん)、カレーライス、牛 丼、みそおでん
令和5年9月1日	Trattoria Gigli (トラットリア ジッリ)	竹谷 茂樹	日光市松原町10-11	0288-28-9028	湯波のカブレゼ、 ヤシオマスのカラスミマリネ、 HIMITSU豚のロースト、パ ンニョカウタ
令和5年9月1日	西洋料理 明治の館	宇井 大悟	日光市山内2339-1	0288-53-3751	特選とちぎ和牛サロインステーキ、 デンダロインステーキ、日光HIMITSU豚の ソーゼージとベーコン盛り合わせ 他
令和5年9月1日	カフェレストラン ふじもと	宇井 大悟	日光市山内2339-1	0288-53-3751	日光湯波のオムライス、 まいたけとHIMITSU豚ベー コンの玄米スパゲッティ 他
令和5年9月1日	ステーキハウス みはし	宇井 大悟	日光市上鉢石町1115	0288-54-3429	特選とちぎ和牛サロインステーキ、 デンダロインステーキ、日光HIMITSU豚の ソーゼージとベーコン盛り合わせ 他
令和5年9月1日	霧降高原 山のレストラン	宇井 大悟	日光市所野1546	0288-50-1525	霧降高原牛の冷製ローストビーフ、 日光産ニジマスのチーズ焼き 他
令和8年2月1日	フレンチ×薬膳 EAU-DE-VIE(オード ヴィ)	上村 真己	鹿沼市天神町1852-7	0289-63-0402	キャロットパ 根菜と鶏肉のバルサミ いぶりがっこのポテトサラダ
令和8年2月1日	レストラン たしろ	堀川 昭博	日光市鬼怒川温泉大原 1398-3 山宮ビル3F	0288-77-4445	栃木野菜のサラダ、こしひかり とちぎ和牛のローストビーフ とちぎ和牛のサロインステーキ

※ 令和8年3月末時点

とちぎの地産地消推進店登録要領 平成23年7月18日制定

② 菓子店

登録日	申請店舗	申請者氏名	住所	電話番号	地産地消メニュー
平成28年4月1日	清流の郷かすお アイス部	須藤 博子	鹿沼市下粕尾1308-1	0289-83-0012	ジェラート(小豆、芋、 ゆずリゾット、いちご、 はと麦等)
平成30年8月1日	カフェ・アウル 【四代目氷屋 徳次郎】	山本 仁一郎	日光市所野1535-4	0288-54-3355	かき氷(イチゴ、 ブルーベリー、ゆず等)
令和2年3月1日	高級食パン専門店 プライベート	更家 友美	日光市今市本町11-4-105	0288-25-6910	サラ・ブレッド、 大麦ブレッド、 全粒粉ブレッド

※ 令和8年3月末時点

とちぎの地産地消推進店登録要領 平成23年7月18日制定

③ 小売店

登録日	申請店舗	申請者氏名	住所	電話番号	主な取扱い県産農産物
平成25年4月1日	株式会社カスミ 鹿沼店	鈴木 基之	鹿沼市栄町2-15-1	0289-65-6074	にら、いちご、ほうれんそう 等
平成25年11月1日	株式会社ベシア 今市モール店	内山 郁郎	日光市芹沼字石神殿 1470-1	0288-21-1111	いちご、生しいたけ、 ほうれんそう等
平成26年9月1日	(株)たいらや 今市店	小川 弥	日光市今市1228-1	0288-22-8118	ほうれんそう、生しいたけ、 ねぎ等
平成26年12月1日	イオンリテール 株式会社 イオン今市店	沼尾 大路	日光市豊田79-1	0288-30-2000	ほうれんそう、生しいたけ、 ねぎ等
令和2年1月1日	ヨークベニマル 鹿沼店	真船 幸夫	鹿沼市西茂呂2-23-7	0289-63-1133	白菜、きゅうり、ピーマン、 生しいたけ(菌床)、 洗い里芋等
令和2年1月1日	ヨークベニマル 鹿沼上殿町店	真船 幸夫	鹿沼市上殿町字百目鬼 929-4	0289-60-7000	舞茸、生しいたけ、里芋、 にら、なす、きゅうり等
令和2年1月1日	ヨークベニマル 鹿沼睦町店	真船 幸夫	鹿沼市睦町287	0289-60-1765	長ねぎ、小松菜、だいこん、 にら、ブロッコリー等
令和2年9月1日	かましん 日光ランドマーク 店	若井 禎彦	日光市今市412-1	0288-30-1133	いちご、にらそば、季節の生 寿司、ニラ四元豚の豚カツ弁 当等
令和2年9月1日	かましん 日光森友店	若井 禎彦	日光市森友789	0288-30-1131	いちご、にらそば、 ニラ四元豚の豚カツ弁当等
令和4年10月1日	ヨークベニマル 千渡店	真船 幸夫	鹿沼市千渡1842	0289-60-8555	野菜類、米
令和7年11月1日	JAかみつが 森友直売所スマイ ル館	大島 一秀	日光市森友923-3	0288-25-5050	野菜類、米
令和7年11月1日	JAかみつが 落合直売所	吉橋 由美子	日光市文挾423-3	0288-27-2662	野菜類、米
令和7年11月1日	JAかみつが 小林直売所	山崎 早苗	日光市小林2805-1	0288-26-8411	野菜類、米
令和7年12月1日	農産直売所あぜみ ち 鹿沼店	林 書緯	鹿沼市千渡1754-5	0289-74-7030	野菜類、米
令和8年1月1日	やさい&くだもの 村 鹿沼晃望台店	山岸 和義	鹿沼市上野町300-24	0289-77-5021	野菜類、米
令和8年2月1日	まちの駅 新・鹿沼 宿物産館	高橋 祐次	鹿沼市仲町1604-1	0289-60-2507	野菜類、米
令和8年2月1日	JAかみつが 奈佐原直売所	高橋 祐次	鹿沼市奈佐原町527	0289-75-3311	野菜類、米

※ 令和8年3月末時点

とちぎの地産地消推進店登録要領 平成23年7月18日制定

(2) 栃木県特別表示認証食品認証状況 (Eマーク)

品 目	商 品 名	製造者 (又は販売者)	市 町 名	認証年月
ジャム類	いちごジャム	福 田 農 園	日 光 市	平成11年9月
	ブルーベリージャム			平成11年9月
	りんごジャム			平成11年9月
	梅ジャム			平成11年9月
	なつおとめジャム	T・N・Bファーム株式会社	鹿 沼 市	令和6年11月
	とちおとめ (ジャム)			令和6年11月
	まるっととちおとめ TOCHIOTOME JAM			令和6年11月
	いちごの瞬間 (いちごジャム)			令和4年5月
	いちごの瞬間 (いちごミルクの素)			令和4年5月
	いちごの瞬間 (いちごジャム) ※スカイベリー使用			令和4年5月
	ハ ム 類	ロースハム	有限会社 山中商店	日 光 市
ソーセージ	ポークウィンナー	有限会社 山中商店	日 光 市	平成23年4月
	フランクフルトソーセージ			平成23年4月
ベーコン類	ベーコン	有限会社 山中商店	日 光 市	平成23年3月
乾燥果実	と き 瞬間をとめた苺	T・N・Bファーム株式会社	鹿 沼 市	令和4年5月
コンポート	いちごの瞬間 (なつおとめコンポート)	T・N・Bファーム株式会社	鹿 沼 市	令和4年5月

※ 令和8年3月末時点

栃木県特別表示食品認証要綱 平成6年4月1日制定

5 田園風景百選認定状況

鹿沼市	板 荷	鹿沼市の北部に位置する板荷。緑豊かな山々に囲まれた農村集落です。地域の中央を清流黒川が流れ、川の水を引き込んで造られた天然のせせらぎプールでは、夏になると子どもたちの元気な声が響き渡ります。
	亀 和 田	鹿沼市の南部に位置する亀和田。思川の東には平坦な農地が広がり、稲作を中心にイチゴ、ニラなどの施設園芸が盛んです。また、飼料用米の栽培が行われるなど、水田の有効活用が図られています。
	見 野	足尾山地の麓にあり、黒川と行川に挟まれた扇状地にある田園地帯にある見野。古くは日光山領66郷のひとつ“美濃郷”といわれていました。一度途絶えた伝統芸能「見野囃子蓮」が復活し、地域の結びつきを強めています。
	入 栗 野	鹿沼市の西に位置する入栗野。こんにゃくやそばの生産が盛んで、地域住民で手入れされた彼岸花の群生もあります。清流栗野川をさかのぼるにつれて険しくなる山並みには、水量豊かな川の音がとどろきます。
	中 栗 野	足尾山地の麓にある鹿沼市 中栗野。清流栗野川沿いにある自然豊かなこの地域では、米とそばの栽培が盛んに行われ、秋には周りの山々を背景に、黄金色に染まった稲と白いそばの花が一面に広がります。
	中 粕 尾	足尾山地地蔵岳を源とする思川の上流にある鹿沼市 中粕尾。緑の山々や清らかに澄んだ川の流れは、訪れる人々の心を慰めてくれます。毎年6月には、無数のホテルが夜空に飛び交い、幻想的な世界が広がります。
	永 野	百川溪谷を源流とした永野川沿いにある集落、鹿沼市 永野。この地域は現在も日本一の麻の生産量を誇り、国産最高品質の「野州麻」として全国に知られています。また、古くからのそば処としても有名です。
日光市	大 室	日光市今市の市街地の東にある集落 大室。“前山”からは、日光連山を背に大室ダムと静かな農村風景が一望できます。北東部にある“大山”の湧き水は、山の麓に鎮座する大室たかお神社を通り集落内を潤しています。
	小 百	日光市今市の市街地の北に位置する日光市小百。西側には板穴川、中央には小百川が流れる自然あふれる集落です。村おこしによるそば組合が設立され、地粉を使った「小百田舎そば」として人気を博しています。
	瀬 川	日光市今市の中心部近くに位置する日光市 瀬川。中禅寺湖を水源とする大谷川が流れており、農業用水や飲料水として使われています。豊かな自然を活かした日光だいや川公園では、多くの家族連れなどに利用されています。
	瀬 尾	日光市今市の市街地から北西に位置する瀬尾。霧降高原道路を進むと広大な牧草地帯「大笹牧場」が広がっています。夏に見られる雲海や秋の紅葉など、この牧場からは四季折々の見事な展望を望むことができます。
	森 友	日光市今市の市街地からおよそ2kmにある森友は日光街道沿いの集落です。ここには長さおよそ4m、重さ300kgにもおよぶ県内で最大のしめ縄をもつ森友瀧尾神社があり、縁結び・安産を祈願する多くの参拝者が訪れます。
	南小来川	日光市の南部に位置する南小来川。山姿が美しく板荷富士とも呼ばれる笹目倉山の麓にある集落です。谷あいの溪谷には清流黒川が流れ、春には新緑、秋には紅葉の美しい風景が作りだされます。
	土 呂 部	県北西部にある山間の集落、日光市 土呂部。国立公園内にあり、森林や溪谷などの美しい自然景観に恵まれ、水芭蕉の群生地など観光客の目を楽しませています。また、昔から和牛の飼育が盛んで、多くの放牧場があります。
	野 門	鬼怒川の上流にある山間の集落、日光市 野門。平家落人伝説が語り継がれるこの地域では「平家高原民宿村」として村おこしが進められ、多くの民家が民宿を営んでいます。山深い風情を味わいに、毎年多くの観光客が訪れます。
藤 原	県北西部の山岳地帯にある日光市 藤原。川治温泉や龍王峡がある観光地でもあります。鶏頂山を中心とする高地では、夏でも冷涼な気候を活かしたほうれんそう、だいこん等が栽培されています。	

6 6次産業化総合計画認定状況

事業名	事業の概要	申請者	認定日
自家生産した安全、安心な和牛の直売事業	もと牛生産から肥育した黒毛和牛を活用して、精肉から直売を行い経営安定化を図る。	横尾 武男 (鹿沼市)	平成25年 5月31日
自家生産玄そばを使用した「日光鶴亀手打ち蕎麦生麺」と「日光鶴亀蕎麦プリン」の開発及び販売事業	自ら生産した玄そば活用し「そば生麺」と「そばプリン」の開発・販売を行う。また、新たに3期作に取り組み、玄そば生産性向上を図り「日光そば」のブランド力向上及び地域活性化を図る。	半田 耕一 (日光市)	平成29年 3月31日
ヤシオマスの未利用部位を用いた新商品の開発・加工・販売事業	従来活用しきれなかった廃棄部位を有効活用し、新商品を開発・加工・販売することで、収益の向上を図り、環境保全に寄与する。	(有)大滝 (日光市)	平成30年 3月30日

7 農業制度資金融資（貸付）状況

(単位：件、千円)

資金区分	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
(1) 農業近代化資金	35	189,930	35	183,850	41	222,120
構築物造成資金	12	81,820	5	25,120	7	54,730
農機具等取得資金	23	108,110	29	153,230	34	167,390
果樹等植栽育成資金	-	-	-	-	-	-
家畜購入育成資金	-	-	1	5,500	-	-
小土地改良資金	-	-	-	-	-	-
農村環境整備資金	-	-	-	-	-	-
大臣特認資金	-	-	-	-	-	-
長期運転資金	-	-	-	-	-	-
(2) 就農支援資金	-	-	-	-	-	-
就農研修資金	-	-	-	-	-	-
就農準備資金	-	-	-	-	-	-
就農施設等資金	-	-	-	-	-	-
(3) 日本政策金融公庫資金 ※	316	7,923,002	351	9,669,867	416	9,666,181
農業改良資金	-	-	-	-	2	87,500
農業経営基盤強化資金（スーパーL）	110	4,695,910	141	7,864,080	194	6,974,760
経営体育成強化資金	8	24,640	9	61,432	16	105,198
農林漁業セーフティネット資金	17	718,000	13	107,000	10	90,700
青年等就農資金	113	887,474	103	886,202	109	1,331,586
農業基盤整備資金	63	413,518	79	532,703	78	489,837
農林漁業施設資金	2	206,460	4	28,450	5	371,600
特定農産加工資金	2	597,000	2	190,000	2	597,000
食品安定供給施設整備資金	1	380,000	-	-	-	-
災害（農業基盤）	-	-	-	-	-	-
その他資金	-	-	-	-	2	215,000
(4) 災害資金	-	-	-	-	-	-
天災資金	-	-	-	-	-	-
災害条例資金	-	-	-	-	-	-

※（3）日本政策金融公庫資金の件数・金額については、県全体の件数、金額を掲載

8 農漁業災害及び農地・農業用施設災害の発生状況

(1) 農産物、生産施設等

(単位：ha、千円)

災害発生日及び内容	市町名	区分	作物名等	被害面積	被害金額
被害なし	—	—	—	—	—
合 計				農産物	—
				施設	—
				合計	—

※ 令和8年2月末時点

(2) 農地、農業用施設等

(単位：千円)

災害発生日及び内容	地区及び箇所番号	区分及び工種等	申請額	査定額	査定率
被害なし	—	—	—	—	—
合 計			—	—	—

※ 令和8年2月末時点

9 放射性物質検査結果

(1) 農業振興事務所が行う検査（令和7年度）

分 類	検査点数	備 考
農産物等	5	安全確認
土壌・堆肥等	111	生産条件検査
調査研究	0	技術確立
合 計	116	

10 米の需給調整状況（令和7年度）

項目	単位	鹿沼市	日光市
対象農業者数	人	3,513	2,744
総水田面積	ha	3,725	4,085
栃木県からの需要量に関する情報（面積換算値）	ha	1,935	2,302
水稻作付面積	ha	2,287	2,377
うち主食用米作付面積	ha	1,930	2,291
作付率（主食用米作付実績 / 総水田面積）	%	52	56
差し引き面積（需要量－作付実績）	ha	5	11

11 農業団体、農業公社等の概要

（1）上都賀農業協同組合（令和6事業年度）

（単位：人、戸）

区分	正組員数 (A)	正組員戸数 (B)	准組員数 (C)	組員総数(D) D=A+C	役員数		職員数		本・支店数
					理事	監事	営農指導員		
上都賀農協	9,027	7,622	7,085	16,112	20	6	307	16	6
県計	92,547	77,058	78,345	170,892	255	66	3,468	270	
1組合平均	9,255.0	7,706.0	7,835.0	17,089.0	26.0	7.0	346.8	27	

資料：JAかみつが 第26回通常総代会資料
令和6事業年度農業協同組合一斉調査

（2）市町農業公社

項目	公益財団法人鹿沼市農業公社	一般財団法人日光市農業公社
設立年月日	昭和49年12月16日	平成8年4月10日
基本財産	3,000万円	3,000万円
役員数	評議員 7名 理事長 1名 副理事長 2名 常務理事 1名 理事 5名 監事 2名	評議員 6名 代表理事 1名 常務理事 1名 理事 5名 監事 2名
職員数	4名	5名
主な実施事業	1 農地利用集積円滑化事業 2 農作業受委託等推進事業 3 耕作放棄地対策事業 4 新規就農者支援事業 5 農業への理解促進と将来の担い手確保促進事業 6 循環型社会形成事業 7 機械施設のリース事業	1 農地集積推進事業 2 農作業受委託推進事業 3 農業用施設の管理運営事業 4 営農集団・農業生産法人育成事業 5 農業用機械・施設共同利用推進事業 6 地域営農体制整備推進事業 7 農業者研修事業

※ 令和8年4月1日現在

(3) 公設地方卸売市場

項 目		鹿沼市公設地方卸売市場			
所 在 地		鹿沼市茂呂1889			
開 設 者		鹿 沼 市			
開 設 年 月		昭和51年10月			
施設概要	施設面積	31,955㎡			
	卸売場面積	4,400㎡			
取扱品目の部類及びその取扱品目		青果物：野菜、果実及びこれらの加工品 水産物：生鮮水産物及びこれらの加工品			
卸 売 業 者 等	卸売業者名		鹿沼総合食品卸売株式会社		
	取 扱 品 目 別 数 量	区 分	委託販売	買付販売	計
		野 菜	979t	218t	1,197t
		果 実	60t	13t	73t
		青果加工品	-	-	-
		水 産	-	70t	70t
		その他	-	-	-
		計	1,039t	301t	1,340t
	買 受 人	仲卸業者	-	-	-
		小売業者	51人	-	-
		仲買業者	-	-	-
		加工業者	2人	-	-
		他市場の卸売業者	-	-	-
その他		24人	-	-	
計		77人	-	-	
買受人組合名		鹿沼青果水産小売商業協同組合			

※ 令和7年3月31日現在

資料：基礎情報 地方卸売市場実態調査表（令和6年度(令和7年3月31日現在)）

実績 運営状況報告書及び事業報告（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

12 ライスセンター・カントリーエレベーター等設置状況

(1) 米麦用

経営主体	設置年度	構成人数	施設概要				処理能力				事業名
			乾燥機形式	規模	D S	バラ出荷施設	面積		処理量		
							米 (ha)	麦 (ha)	米 (t)	麦 (t)	
酒野谷営農改善組合 (下日向営農改善組合)	S49	32	サタケMD テンパリング 方式	30石 6基		有り	36	18	151	64	第2次農業構造改善事業
楡木町営農改善組合	S63	19		50石 6基		有り	35	30	184	84	県単水田農業確立対策特別事業
野沢町営農改善組合	S59	5	サタケ 循環式	38石 2基 33石 1基		有り	21	10	92	37	新農業構造改善事業
武子第一営農改善組合	S59	4	サタケ 循環式	33石 2基		無し	20	15	84	51	新農業構造改善事業
見野営農改善組合	S60	5	サタケ 循環式	28石 2基 16石 1基 50石 1基		有り	28	18	126	48	新農業構造改善事業
磯町営農組合	S62	19	シズオカ	33石 4基 60石 1基		有り	30	12	126	46	農業生産体質強化総合推進対策事業
池ノ森営農組合	S63	8	サタケ	50石 3基		有り	25	18	120	64	県単水田農業確立対策特別事業
大室農業生産組合	S60	8	サタケ	3.3t 6基		有り	35	20	168	72	新地域農業生産総合振興対策事業
上都賀農業協同組合 (日光営農経済センター)	H3	-	クボタ	40t 5基 サ伊 2,700t	○	-	360	150	1,656	540	農業生産体質強化総合推進対策事業
鹿沼市	H5 H25 増築	-	サタケ	45t 4基 サ伊 2,000t		有り	350	-	1,495 1,504	-	先進的農業生産総合推進対策事業、強い農業づくり交付金
上都賀農業協同組合 (南部営農経済センター)	H9 R7 改修	-	サタケ	45t 3基 サ伊 2,000t		有り	350	-	1,987	-	農業生産体質強化総合推進対策事業 新基本計画実装・農業構造転換事業
イーストファーム小林	H15	48	山本	50NXFR 3基 50AXDR 1基		有り	47	大豆 14	305	大豆 33	首都圏農業パワーアップ推進事業

※ 設置時点

(2) 豆類・雑穀用

経営主体	設置年度	構成人数	施設概要				処理能力			事業名
			乾燥機形式	規模	D S	バラ出荷施設	品目名	面積 (ha)	処理量 (t)	
鹿沼市農業公社	H20	-	流下式	50t 6基	-	-	大豆 ハトムギ	56 70	100 106	強い農業づくり事業 (競争力強化生産総合対策)
上都賀農業協同組合 (日光営農経済センター)	H20	-	山本、 サタケ	-	-	-	そば	149	110	強い農業づくり事業 (競争力強化生産総合対策)

※ 設置時点

(3) 飼料用米

経営主体	設置年度	構成人数	施設概要				処理能力			事業名
			乾燥機形式	規模	D S	バラ出荷施設	品目名	面積 (ha)	処理量 (t)	
亀和田・北赤塚 営農組合	H21	11	山本	6t 3基	-	-	飼料用米	42	315	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

※ 設置時点

13 農産物直売所、農村レストラン等設置状況

(1) 農産物直売所

市町名	施設名	営業時間	定休日等	住所／電話
鹿沼市	JAかみつが 奈佐原直売所	9:00～16:45	お正月、お盆	〒322-0528 奈佐原527 ／0289-75-3311
	野尻直売所	9:00～18:00 (3～10月) 9:00～17:30 (11～2月)	月曜日 8/14～16、12/31～1/7	〒322-0251 野尻285-4 ／0289-63-4418
	清流の郷かすお	9:00～16:00 (平日) 9:00～16:30 (土日・祝日)	月曜日 8/14～16、12/31～1/7	〒322-0421 下粕尾1308-1 ／0289-83-0012
	まちの駅 新・鹿沼宿 物産館	9:00～17:30	第二水曜日 1/1～1/2	〒322-0053 仲町1604-1 ／0289-60-2507
	鹿沼特産物販売所	8:30～17:00	7～4月：木曜日	〒322-0026 茂呂2002-1 ／0289-76-2310
日光市	JAかみつが 落合農産物直売所	8:00～16:00	12/31～1/5	〒321-1105 文挾町423-3 ／0288-27-2662
	JAかみつが 大沢農産物直売所	8:30～15:00	12/31～1/3	〒321-2345 木和田島1373-112 ／0288-26-3792
	JAかみつが 小林農産物直売所	8:00～16:00	12/31～1/5	〒321-2352 小林2805-1 ／0288-26-8411
	栗山ふるさと 物産センター	9:00～16:00	水曜日、木曜日、 12～3月 (冬期休業)	〒321-2712 日陰596-2 ／0288-97-1870
	くろべ茶屋	8:30～16:00 9月秋分の日～11月	不定休、 12～9月 (長期休業)	〒321-2713 黒部23-4 ／-
	日光ブランド 情報発信センター	9:00～17:00 (3～10月) 9:00～16:00 (11～2月)	12/31午後～1/5	〒321-1263 瀬川844 ／0288-25-7212
	木もれびの里 箒路 直売コーナー	10:00～15:00	水曜日、木曜日	〒321-2332 大室1610-1 ／0288-25-7041
	湯西川 水の郷	11:00～17:00	水曜日	〒321-2601 湯西川473-1 ／0288-98-0260
	道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣	9:00～18:00	第3火曜日	〒321-1261 今市733-1 ／0288-25-5557
	JAかみつが 森友直売所スマイル館	8:30～17:00 (3～10月) 8:30～16:30 (11～2月)	12/31～1/6	〒321-2335 森友923-3 ／0288-25-5050

※ 令和8年5月現在

(2) 農村レストラン

市町名	施設名	内容		住所/電話
		営業時間/定休日等		
鹿沼市	【そば】 かぬま手づくりの里 そば処 久我	地元産を使った香り豊かな手打ちそば 11:00~14:00 / 月曜日(祝日の場合、次の火曜日)		〒322-0254 上久我27-1 /0289-65-8787
	【ハーブ・パスタ】 花農場あわの ミントハウス	ハーブガーデンのあるレストラン 10:00~16:00(4~11月) / 火曜日 11:00~16:00(12~3月)		〒322-0422 中粕尾423 /0289-83-7787
	【そば】 清流の郷かすお	緑と清流の郷のレストラン 11:00~14:00 / 月曜日		〒322-0421 下粕尾1308-1 /0289-83-0012
	【そば】 鹿沼そば 大越路	鹿沼産そばとにらを合わせた「にらそば」が人気 10:30~16:00 / 1/1~1/2、第二水曜日		〒322-0053 仲町1604-1 /0289-60-2507
日光市	【そば】 三たてそば長畑庵	挽きたて、打ちたて、茹でたてのそば 11:00~15:00 / 火曜日、金曜日		〒321-1108 長畑635-1 /0288-27-2488
	【そば】 小百田舎そば	手づくりの田舎そば 11:00~14:30 / 月曜日、木曜日		〒321-1265 小百167 /0288-21-7232
	【そば】 小代行川庵	地元産の風味豊かなそば 11:00~14:30(4月~12月) / 木曜日(祝日は営業)、 11:00~14:00(1~3月) 12/31~1/3		〒321-1107 小代371 /0288-27-3535
	【そば】 そば処 水無湧水庵	湧き水でこね上げた地粉そば 11:00~14:30 / 水曜日		〒321-2334 水無309 /0288-26-3355
	【そば】 報徳庵	自家製粉した日光産の香り豊かなそばをどうぞ 11:00~15:00 / 1/1~1/3、木曜日		〒321-1263 瀬川383-1 /0288-21-4973
	【そば】 そば処 ひなた	有機農産物を食材に使用 11:00~14:00 / 木曜日、12~3月(冬期休業)		〒321-2711 日向610-1 /0288-78-0513
	【そば】 木もれびの里 箒路	地元産玄そばと湧水を使用したそば 11:00~14:30 / 水曜日、木曜日		〒321-2332 大室1610-1 /0288-25-7041
	【そば・郷土料理】 湯西川 水の郷 (観光センター内食堂)	名物の手打ちそばや湯西川の郷土料理 11:00~15:00 / 水曜日		〒321-2601 湯西川473-1 /0288-98-0260

※ 令和8年5月現在

(3) 加工体験施設

市町名	団体名	内容		住所/電話
		営業時間/定休日等		
鹿沼市	かぬま手づくりの里 運営委員会	そば打ち体験 要予約		〒322-0254 上久我27-1 /0289-65-8787
		ドライフラワー、押し花、かご編み、ハーブ寄せ植え教室 要予約		〒322-0422 中粕尾423 /0289-83-7787
日光市	岩崎そば生産組合 農業体験部	そば打ち体験 要予約		〒321-1104 岩崎1292-1 /0288-27-3000

※ 令和8年5月現在

(4) 市民農園

市町名	名称	区画数/1区画面積	申込時期/利用期間	問い合わせ
日光市	日光市民農園	62/約20m ²	4月/1年間(4~3月) ※更新可	(一財)日光市農業公社 /0288-22-7770

14 各種地域指定等一覧

(1) 地域指定

区 分	鹿 沼 市	日 光 市	根 拠 法	要 件 等
振興山村地域	板荷村、西大芦村、加蘇村、栗野町、永野村、粕尾村	日光町、小栗川村、足尾町、栗山村、三依村、藤原町	山村振興法	旧農業センサス規則に基づく林業調査の結果による旧市町村（昭和25年2月1日現在）の区域に係る林野率が75%以上でかつ人口密度が1町村当たり1.16人未満
過疎地域	-	日光市、足尾町、栗山村、藤原町	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法	①人口要件（人口減少率かつ高齢者比率又は若年者比率による） ②財政力要件（財政力指数、公営競技収益による）
辺地整備（地区数）	5地区	15地区	辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律	①当該地域の中心を含む5km ² 以内の面積の中に50人以上の人口を有すること。 ②辺地度数が100点以上であること。
日本政策金融公庫法に定める中山間地域	板荷村、西大芦村、加蘇村、栗野町	旧日光市、足尾町、藤原町、栗山村	株式会社日本政策金融公庫法	
特定農山村法に関わる中山間地域	板荷村、西大芦村、加蘇村、栗野町、永野村、粕尾村、清洲村	日光町、小栗川村、足尾町、栗山村、三依村、藤原町	特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律	地理的条件が悪く農業の生産条件が不利な地域で主務大臣が公示 ①勾配1/20以上の田面積が全面積の50%以上 ②勾配15度以上の畑面積が全畑面積の50%以上 ③林野率75%以上 （①～③のいずれかに該当） ④15才以上人口に対する農林業従事者数の割合が10%以上、又は総土地面積に対する農林地割合81%以上 ⑤人口10万人未満
農林統計に用いる「農業地域類型」の中(山)間農業地域	中間農業地域：あり 山間農業地域：あり	中間農業地域：あり 山間農業地域：あり	農林水産統計観測審議会農林水産統計総合部会決定（平成2年9月） （最終改定：令和5年3月2日）	【中間農業地域】 ①耕地率が20%未満で、「都市的地域」及び「山間農業地域」以外の旧市町村 ②耕地率が20%以上で「都市的地域」及び「平地農業地域」以外の旧市町村 【山間農業地域】 林野率80%以上かつ耕地率10%未満の旧市町村

※ 令和6年度時点

資料：令和7（2025）年度栃木県農業白書

(2) 野菜指定産地

種 別	指定産地名	指定年月日	該 当 市 町	備 考
夏だいこん	栃木県北高冷地	昭和41年8月18日	日光市、那須塩原市、塩谷町	区域拡大：平成17年2月18日
冬春トマト	鹿 沼	平成3年8月26日	鹿沼市 栃木市（旧西方町）	区域拡大：平成15年2月18日
ほうれんそう	日 塩	昭和48年12月20日	日光市、那須塩原市、塩谷町、那須町	区域拡大：平成25年5月7日

15 補助事業等実施状況

(1) 補助事業(非公共)(令和7年度)

国庫 / 県単	事業名	細事業名	市町名	事業主体	事業内容	事業費(円)	補助金額(円)
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(農業委員会交付金)	鹿沼市	鹿沼市農業委員会	農業委員会事務局職員費	9,772,355	4,791,000
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(農業委員会交付金)	日光市	日光市農業委員会	農業委員会事務局職員費	9,316,112	4,263,000
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(農地利用最適化交付金)	鹿沼市	鹿沼市農業委員会	担い手への農地集積・集約化の推進活動、遊休農地の発生防止・解消活動に関する経費	10,013,426	8,236,000
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(農地利用最適化交付金)	日光市	日光市農業委員会	担い手への農地集積・集約化の推進活動、遊休農地の発生防止・解消活動に関する経費	1,771,900	1,741,000
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(機構集積支援事業費交付金)	鹿沼市	鹿沼市農業委員会	農地等の台帳の整備、農地の有効利用を図るための支援事業に関する経費	1,852,090	1,836,000
国庫	農業委員会等諸費事業	農業委員会助成費(機構集積支援事業費交付金)	日光市	日光市農業委員会	農地等の台帳の整備、農地の有効利用を図るための支援事業に関する経費	1,854,353	1,716,000
国庫	日本型直接支払事業	中山間地域等直接支払事業費(中山間地域等直接支払交付金)	鹿沼市	鹿沼市	中山間地域等直接支払交付金(1協定)	2,862,498	2,146,872
国庫	日本型直接支払事業	中山間地域等直接支払事業費(中山間地域等直接支払交付金)	日光市	日光市	中山間地域等直接支払交付金(8協定)	11,790,527	7,965,352
国庫	日本型直接支払事業	中山間地域等直接支払事業費(中山間地域等直接支払推進交付金)	鹿沼市	鹿沼市	中山間地域等直接支払推進交付金(事務費)	29,000	29,000
国庫	日本型直接支払事業	中山間地域等直接支払事業費(中山間地域等直接支払推進交付金)	日光市	日光市	中山間地域等直接支払推進交付金(事務費)	20,000	20,000
国庫	経営所得安定対策直接支払推進事業	経営所得安定対策等直接支払推進事務費	鹿沼市	鹿沼市農業再生協議会	経営所得安定対策等推進事業実施要綱に基づき地域段階の事業実施主体が行う現場における推進活動や要件確認等に要する経費	10,472,000	10,472,000
国庫	経営所得安定対策直接支払推進事業	経営所得安定対策等直接支払推進事務費	日光市	日光市農業再生協議会	経営所得安定対策の推進に必要な電算システムの維持更新や現地確認等に要する経費	10,559,000	10,559,000
国庫	農地集積推進事業費	機構集積協力金交付事業費(機構集積協力金交付事業費)	日光市	日光市	機構集積交付金の交付	15,734,800	15,734,800
国庫	競争力強化生産総合対策費	産地生産基盤パワーアップ事業費	日光市那須塩原市	日光市	日塩ほうれんそう暑熱対策研究会9戸への遮光資材導入	10,965,680	5,069,000
国庫	競争力強化生産総合対策費	産地生産基盤パワーアップ事業費	鹿沼市	鹿沼市	パイプハウス資材一式、ウォーターカーテンハウス資材一式の導入	72,962,536	33,249,000
国庫	農地利用効率化等支援交付金交付事業	融資主体型補助事業	日光市	日光市	ハウス付帯設備(暖房機、炭酸ガス発生装置、高設栽培設備、電照設備、かん水設備、自動換気装置)	20,289,231	5,533,000
国庫	R6年補正農業支援サービス事業緊急拡大支援事業	農業支援サービスの立ち上げ支援のうちスマート農業機械等導入支援のうち地域型サービス支援タイプ(ハード)	鹿沼市	鹿沼市	産業用マルチローター、食味・収量センサ付きコンバイン、散布用ドローン、センシング用ドローンの導入	17,410,225	7,913,000

国庫 / 県単	事業名	細事業名	市町名	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)
国庫	R6年補正農業支援サービス事業緊急拡大支援事業	農業支援サービスの立ち上げ支援のうちスマート農業機械等導入支援のうち地域型サービス支援タイプ (ソフト)	鹿沼市	鹿沼市	農業用オペレーター講習費	660,000	600,000
国庫	競争力強化生産総合対策費	新基本計画実装・農業構造転換支援事業費(令和6年度補正予算)	鹿沼市	上都賀農業協同組合	南上野CEの合理化に要する経費	49,888,300	22,676,000
国庫	消費・安全対策交付金 食料安全保障確立対策費	食料安全保障確立対策整備交付金	鹿沼市	鹿沼市自衛防疫推進協議会	家畜衛生の推進(まん延防止に係る消毒対策機器の導入)	643,500	292,500
国庫	消費・安全対策交付金 食料安全保障確立対策費	食料安全保障確立対策整備交付金	日光市	JA かみつが日光養豚部会	家畜衛生の推進(農場の分割管理の導入に係る施設整備)	5,860,340	2,930,000
国庫	消費・安全対策交付金(R6年度繰越し) 食料安全保障確立対策費	食料安全保障確立対策整備交付金	日光市	JA かみつが日光養豚部会	家畜衛生の推進(農場の分割管理の導入に係る施設整備)	27,421,010	13,710,500
県単	とちぎの農村稼ぐ力強化事業費	食と農DE周遊促進プロモーション事業	日光市	日光市そば消費拡大推進協議会	情報誌トチペへの「日光夏の手打ちそばスタンプラリー」情報掲載に係る費用	554,400	100,000
県単	とちぎの農村稼ぐ力強化事業費	食と農DE周遊促進プロモーション事業	鹿沼市	鹿沼そば振興会	鹿沼そば天国スタンプラリー台紙の作成に係る費用	288,750	100,000
県単	とちぎの農村稼ぐ力強化事業費	食と農DE周遊促進プロモーション事業	鹿沼市	かぬまブランド推進協議会	かぬまブランド周遊パンフレット制作に係る費用	440,000	100,000
県単	とちぎの農村稼ぐ力強化事業費	農村地域グローバル化推進事業費	日光市	のらのわ～タガヤスネットワーク～	地域へのインバウンド誘客のための多言語対応、農村体験・食事メニューの開発、滞在環境の整備、先進地域視察等	1,805,806	902,000
県単	とちぎの農村稼ぐ力強化事業費	農村地域グローバル化整備事業費	日光市	のらのわ～タガヤスネットワーク～	地域へのインバウンド誘客の推進に必要な宿泊施設の整備	8,267,496	3,306,000
県単	中山間地域農村環境保全事業費	中山間地域活性化支援事業費	日光市	霧降高原の美しい森づくり協議会	日光市所野地区における耕作放棄地への菜の花播種による景観形成	624,000	600,000
県単	中山間地域活性化対策費	魅力ある中山間地域づくり事業(キラめく地域づくり支援事業)	鹿沼市	北赤塚とちおとめ生産加工組合	鹿沼市南押原地区における加工用いちごの保管のための冷凍庫導入	2,585,000	1,000,000
県単	水田農業構造改革推進事業	水田所得確保支援事業費	鹿沼市	鹿沼市農業再生協議会	主食用米から飼料用米等への作付拡大に対する助成	856,490	856,490
県単	水田農業構造改革推進事業	水田所得確保支援事業費	日光市	日光市農業再生協議会	主食用米から飼料用米等への作付拡大に対する助成	252,160	252,160
県単	水田農業構造改革推進事業	農業団体等需給調整推進事業費(地域協議会需給調整推進事業費)	鹿沼市	鹿沼市農業再生協議会	主食用米の作付け参考値の提示に係る事務等	200,000	100,000
県単	水田農業構造改革推進事業	農業団体等需給調整推進事業費(地域協議会需給調整推進事業費)	日光市	日光市農業再生協議会	主食用米の作付け参考値の提示に係る事務等	200,000	100,000
県単	とちぎの農業DX推進事業	ひろがるとちぎのスマート農業推進事業	鹿沼市	上都賀農業協同組合鹿沼にら部	にらそぐり機一式、コンプレッサー一式	7,593,190	2,988,000

国庫 / 県単	事業名	細事業名	市町名	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)
県単	経営資源有効活用リフォーム支援事業費	経営資源有効活用リフォーム支援事業	鹿沼市	鈴木 亮	ハウスカーテン張り替え、配管工事、自動換気駆動機交換	1,232,000	560,000
県単	経営資源有効活用リフォーム支援事業費	経営資源有効活用リフォーム支援事業	鹿沼市	岡田裕介	パイプハウス、被覆資材、自動換気装置の修繕に係る費用	3,564,897	1,500,000
県単	経営資源有効活用リフォーム支援事業費	経営資源有効活用リフォーム支援事業	鹿沼市	相澤庸介	パイプハウス被覆資材、自動換気装置の修繕に係る費用	671,264	335,000
県単	産地人材育成確保事業費	産地人材育成確保事業費	鹿沼市	上都賀農業業協同組合鹿沼にら部	とちぎ農業マイスターの設置等 5名	1,920,000	1,920,000
国庫	農業次世代人材投資事業費	新規就農者育成総合対策事業 (経営開始資金)	鹿沼市	鹿沼市	就農直後の経営確立に資する経営開始資金の交付	15,885,000	15,885,000
国庫	新規就農者育成総合対策事業費	農業次世代人材投資事業 (経営開始型)	鹿沼市	鹿沼市	農業次世代投資資金の交付	4,200,000	4,200,000
国庫	新規就農者育成総合対策事業費	経営発展支援事業	鹿沼市	鹿沼市 (交付対象4名)	就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入支援 (パイプハウス19棟)	24,855,318	14,878,000
国庫	新規就農者誘致環境整備事業費	新規就農者確保緊急円滑化対策のうち世代交代・初期投資促進事業	鹿沼市	鹿沼市 (交付対象2名)	就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入支援 (パイプハウス18棟、トラクター、トラクターアタッチメント一式)	21,600,371	15,000,000
県単	園芸大国とちぎフル加速総合対策事業費	園芸大国とちぎフル加速総合対策事業 (施設園芸拡大整備支援事業)	鹿沼市	鹿沼市	トマトハウス屋根高機能化張替 (交付対象者1名:佐藤由紀恵)	5,038,000	1,500,000
県単	園芸大国とちぎフル加速総合対策事業費	園芸大国とちぎフル加速総合対策事業 (「いちご王国・栃木」生産拡大等支援事業)	鹿沼市 日光市 栃木市	かみつがいちご規模拡大協議会	いちご栽培用パイプハウス	48,582,955	16,153,000
県単	園芸大国とちぎフル加速総合対策事業費	園芸大国とちぎフル加速総合対策事業 (施設園芸暑熱対策支援事業)	鹿沼市	上都賀農業協同組合鹿沼にら部	にら遮光・遮熱資材、循環扇	3,161,587	1,031,000
県単	園芸大国とちぎフル加速総合対策事業費	園芸大国とちぎフル加速総合対策事業 (施設園芸分業化推進事業)	鹿沼市、日光市、栃木市	かみつがいちご分業化利用組合	いちご自動ラップ機、半自動ラップ機	5,849,000	2,259,000
県単	園芸大国とちぎフル加速総合対策事業費	スマート農業団地モデル整備支援事業	鹿沼市	鹿沼市	環境モニタリング装置「Farmo」の導入に係る助成 (公益財団法人鹿沼市農業公社)	597,500	217,000
県単	燃油価格高騰対応省エネ支援事業費	燃油価格高騰対応省エネ支援事業	日光市	シクラメン・マスターズ日光	循環扇取付、カーテン張替	682,946	321,000
国庫	環境保全型農業直接支払交付金	栃木県環境保全型農業直接支払事業 (環境保全型農業直接支払交付金)	鹿沼市	鹿沼市	環境保全型農業直接支払交付金の交付 (1,745a)	2,443,000	1,832,250
国庫	環境保全型農業直接支払交付金	栃木県環境保全型農業直接支払事業 (環境保全型農業直接支払交付金)	日光市	日光市	環境保全型農業直接支払交付金の交付 (6,524a)	4,015,300	3,011,475
国庫	環境保全型農業直接支払推進交付金	栃木県環境保全型農業直接支払事業 (環境保全型農業直接支払推進交付金)	鹿沼市	鹿沼市	環境保全型農業直接支払交付金の推進及び確認	20,000	20,000
国庫	環境保全型農業直接支払推進交付金	栃木県環境保全型農業直接支払事業 (環境保全型農業直接支払推進交付金)	日光市	日光市	環境保全型農業直接支払交付金の推進及び確認	15,002	15,000

国庫 / 県単	事業名	細事業名	市町名	事業主体	事業内容	事業費 (円)	補助金額 (円)
国庫	鳥獣被害防止総合対策推進事業費	鳥獣被害防止総合対策事業	鹿沼市	鹿沼市野生鳥獣対策協議会	侵入防止柵の設置 3,725m(直営施工) イノシシ用箱わな及びくくりわな購入	19,454,160	19,454,000
国庫	鳥獣被害防止総合対策推進事業費	鳥獣被害防止総合対策事業	日光市	日光市野生鳥獣対策協議会	侵入防災柵の設置 3,598m(直営施工)、箱わな及びくくりわなの購入、射撃研修会2回開催、鳥獣被害対策実施隊活動経費(賃金)等	10,378,800	9,145,000
県単	とちぎの和牛繁殖基盤強化事業費	とちぎの和牛繁殖基盤強化事業	鹿沼市	上都賀農業協同組合	優良繁殖雌牛導入補助 7頭	350,000	350,000
県単	耕畜連携推進機械導入支援事業費	持続的畜産経営推進事業	日光市	農事組合法人大室	汎用型微細断飼料収穫機	24,651,000	4,000,000
国庫	草地更新緊急対策事業費	農畜産物放射性物質影響緩和対策事業	鹿沼市	鹿沼市	塩化加里の配布施用	696,000	696,000

(2) 基盤整備事業

① 県営土地改良事業

(単位：千円、%)

事業名	地区名	関係市町	着工	完了(予)	全体※		令和6年度まで※		令和7年度※			令和8年度以降		令和7年 迄進捗率	負担割合			
					事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	うち繰越	事業量	事業費		国	県	市町	地元
経営体育成基盤	笹原田	鹿沼市	H30	R8	32.8ha	934,836	31.5ha	879,836	付帯工 1式	29,000	0	換地業務	26,000	97.2	50.0	30.0	7.5	12.5
	薄井沢	日光市	R2	R10	58.1ha	2,590,000	整地工 42.3ha	1,363,315	整地工 8.9ha	664,000	89,000	整地工 7.0ha	562,685	78.3	50.0	30.0	10.0	10.0
	千渡	鹿沼市	R4	R11	58.7ha	1,751,200	整地工 13.6ha	368,940	整地工 13.7ha	809,352	406,722	整地工 31.4ha	572,908	67.3	50.0	30.0	7.5	12.5
農業農村整備事業 計画調査	沢又	日光市	H30	R9	51.3ha	39,120	計画設計	36,120		0	0	計画樹立	3,000	92.3	50.0	25.0	25.0	-
	玉田	鹿沼市	R3	R7	53.0ha	41,070	計画設計	36,450	計画樹立	4,620	0		0	100.0	50.0	25.0	25.0	-
	轟	日光市	R5	R7	54.8ha	44,680	計画設計	39,950	計画樹立	4,730	0		0	100.0	50.0	25.0	25.0	-
	西茂呂	鹿沼市	R3	R9	17.0ha	33,150	基礎調査	4,511	計画設計	2,639	0	計画設計	26,000	21.6	50.0	25.0	25.0	-
	荊沢	日光市	R6	R9	66.0ha	54,080	基礎調査	1,980	計画設計	12,804	0	計画設計	39,296	27.3	100.0	-	-	-
基幹水利施設ストック マネジメント事業	日光(1)	日光市	R7	R7	機能診断 1箇所	8,426			機能診断 1箇所	8,426	0		0	100.0	100.0	-	-	-

※R8年度時点総量

※R7年度への繰越除く

※R6年度から繰越+R7年度

② 団体営土地改良事業

(単位：千円、%)

事業名	地区名	事業主体	着工	完了(予)	全体		令和6年度まで		令和7年度			令和8年度以降		令和7年 迄進捗率	負担割合			
					事業量	事業費	事業量	事業費	事業費	うち繰越	事業量	事業費	国		県	市町	地元	
地籍調査	鹿沼	鹿沼市	H28		468.20km ²		15.00km ²		0.15km ²	27,278		453.29km ²		3.2	50.0	25.0	25.0	-
	日光	日光市	S48		609.06km ²		53.94km ²		0.03km ²	3,908		556.36km ²		8.9	50.0	25.0	25.0	-
農地耕作条件改善 事業	上石川1期	鹿沼市	R7	R9	排水路 1,200m	230,000			測量設計 1式	25,000				10.9	50.0	15.0	35.0	-
	北半田	鹿沼市 土地改良区	R7	R8	揚水機改修 1基	42,000			揚水機改修 1基	42,000	42,000			0.0	50.0	15.0	17.5	17.5

③ その他事業等（令和7年度）

（単位：円、％）

事業名	地区名	市町名	事業主体	事業量	事業費	負担割合			
						国	県	市町	地元
県単独農業農村整備事業	引田	鹿沼市	鹿沼市	農道整備 L= 476.57m	20,800,000	-	30.0	70.0	-
	西沢	鹿沼市	鹿沼市土地改良区	揚水機更新 2基	4,600,000	-	45.0	20.0	35.0
	磯	鹿沼市	南押原土地改良区	除塵機改修 1基	8,400,000	-	17.1	20.0	62.9
	町谷	日光市	日光市	水路整備 L= 48.4m	21,450,000	-	45.0	55.0	-
	猪倉	日光市	日光市	農道整備 L= 419.6m	15,587,000	-	40.0	60.0	-
	大室	日光市	日光市	農道整備 L= 246.6m	9,603,000	-	40.0	60.0	-
農地集積促進事業 (旧農業経営高度化支援事業)	山口	日光市	日光市土地改良区	農地集積促進費	37,780,000	50.0	50.0	-	-
	田川流域	日光市	日光市土地改良区	農地集積促進費	29,170,000	50.0	50.0	-	-
	引田	鹿沼市	引田土地改良区	農地集積促進費	27,000,000	50.0	50.0	-	-
	薄井沢	日光市	日光市土地改良区	高度土地利用調整調査・調整事業	200,000	50.0	25.0	25.0	-
	千渡	鹿沼市	千渡土地改良区	高度土地利用調整調査・調整事業	200,000	50.0	25.0	25.0	-
農業水利施設 省エネルギー化推進事業	鹿沼市	鹿沼市	鹿沼市	省エネルギー化・コスト削減対策 鹿沼市土地改良区 29施設	115,000	100.0	-	-	-
	南押原	鹿沼市	鹿沼市	省エネルギー化・コスト削減対策 南押原土地改良区 48施設	210,000	100.0	-	-	-
経営体育成促進換地等調整事業	玉田	鹿沼市	鹿沼市	換地等調整 A=59.0ha	1,265,000	100.0	-	-	-
	轟	日光市	日光市	換地等調整 A=60.0ha	1,298,000	100.0	-	-	-
	荊沢	日光市	日光市	換地等調整 A=66.0ha	2,500,000	100.0	-	-	-

(3) 多面的機能支払交付金実施状況 (令和7年度)

(単位:円)

活動組織名	関係市町	開始	終了	対象面積(a)				農地維持 支払交付額 (円)	資源向上支払 (共同活動) 交付額 (円)	資源向上支払 (長寿命化) 交付額 (円)	合計
				田	畑	草地	合計				
1 下沢引田 農村環境保全の会	鹿沼市	R6	10	11,276	1,724	0	13,000	3,727,600	2,215,872	0	5,943,472
2 中入栗野美郷の会	〃	R6	10	3,250	1,191	0	4,441	1,213,200	713,628	345,474	2,272,302
3 中粕尾水と緑の会	〃	R6	10	1,500	91	0	1,591	468,200	279,828	140,456	888,484
4 板荷畑いつくし美会	〃	R6	10	2,424	595	0	3,019	846,200	500,580	232,683	1,579,463
5 磯町の自然を守る会	〃	R6	10	5,686	535	0	6,221	1,812,800	1,081,260	0	2,894,060
6 野沢町グリーン クラブ	〃	R6	10	3,441	533	0	3,974	1,134,100	674,352	325,372	2,133,824
7 武子自然を守る会	〃	R6	10	6,554	873	0	7,427	2,140,800	1,274,004	0	3,414,804
8 見野・富岡・下達部 環境整備協議会	〃	R6	10	16,076	1,331	0	17,407	5,083,100	3,034,512	0	8,117,612
9 中山沢自然保存会	〃	R6	10	787	233	0	1,020	282,700	166,824	0	449,524
10 深津環境保全部会	〃	R6	10	5,751	29	0	5,780	1,731,100	0	0	1,731,100
11 野尻の大地を守る会	〃	R6	10	3,685	85	0	3,770	1,122,500	672,480	339,312	2,134,292
12 下久我の自然を 守る会	〃	R6	10	2,078	29	0	2,107	629,200	0	0	629,200
13 酒野谷自然環境を 守る会	〃	R6	10	11,275	0	0	11,275	3,382,500	0	0	3,382,500
14 久野の農地を守る会	〃	R6	10	8,262	1,009	0	9,271	2,680,400	0	0	2,680,400
15 笹原田環境保全の会	〃	R6	10	2,898	614	0	3,512	992,200	587,952	0	1,580,152
16 西茂呂清流の会	〃	R6	10	1,880	702	0	2,582	704,400	0	0	704,400
17 楡木小藪川用水組合	〃	R6	10	8,594	42	0	8,636	2,586,600	0	0	2,586,600
18 中島用水組合	〃	R6	10	8,930	218	0	9,148	2,722,600	0	0	2,722,600
19 当山環境保全組合	〃	R6	10	4,724	337	0	5,061	1,484,600	0	0	1,484,600
20 南端用水組合	〃	R6	10	9,301	195	0	9,496	2,829,300	0	0	2,829,300
21 永野保全の会	〃	R6	10	6,376	5,771	0	12,147	3,067,000	0	0	3,067,000
22 日向地域保全の会	〃	R6	10	13,884	330	0	14,214	4,231,200	0	0	4,231,200
23 生子の郷 環境保全の会	〃	R6	10	1,934	42	0	1,976	588,600	352,656	0	941,256
24 北半田地区の 自然を守る会	〃	R7	11	12,669	4	0	12,673	3,801,500	0	0	3,801,500
25 栃窪の自然環境を 守る会	〃	R3	7	4,088	184	0	4,272	1,254,400	0	0	1,254,400
26 玉田環境保全の会	〃	R5	9	4,316	121	0	4,437	1,319,000	0	0	1,319,000
27 7区環境保全の会	〃	R5	9	2,050	1,855	0	3,905	986,000	0	0	986,000
28 3区環境保全の会	〃	R3	7	1,700	697	0	2,397	553,000	0	739,340	1,292,340
29 千渡地区 環境保全の会	〃	R4	8	7,031	267	0	7,298	2,162,700	0	0	2,162,700
30 西沢環境保全会	〃	R5	9	2,380	633	0	3,013	840,600	0	0	840,600
31 下加園大地を守る会	〃	R5	9	4,457	2,190	0	6,647	1,775,100	1,038,780	0	2,813,880
32 口栗野環境保全会	〃	R5	9	4,849	1,020	0	5,869	1,658,700	0	149,618	1,808,318
33 粕尾・柏木地区環境 保全の会	〃	R5	9	10,546	105	0	10,651	3,184,800	1,909,620	0	5,094,420
34 ふるさと塩山保全の 会	〃	R5	9	2,767	27	0	2,794	783,900	0	66,510	850,410
35 南摩地域環境保全の 会	〃	R6	10	24,553	781	0	25,334	7,522,100	0	0	7,522,100
36 上田・自然を守る会	〃	R7	11	405	0	0	405	121,500	0	0	121,500
鹿沼市 計36組織				222,377	24,393	0	246,770	71,424,200	14,502,348	2,338,765	88,265,313

活動組織名	関係市町	開始	終了	対象面積(a)				農地維持 支払交付額 (円)	資源向上支払 (共同活動) 交付額 (円)	資源向上支払 (長寿命化) 交付額 (円)	合 計
				田	畑	草地	合計				
1 小林1・2区 地域資源保全会	日光市	R6	10	16,317	603	0	16,920	5,015,700	3,002,184	296,610	8,314,494
2 いずみネットワーク	〃	R6	10	3,756	787	0	4,543	1,284,200	761,076	317,229	2,362,505
3 沢又地域 ふるさと資源保全隊	〃	R6	10	4,066	715	0	4,781	1,362,800	809,100	252,991	2,424,891
4 塩野室地域水土里 保全隊	〃	R6	10	16,498	558	0	17,056	5,061,000	3,029,904	312,313	8,403,217
5 上板橋の環境を 守る会	〃	R6	10	4,585	185	0	4,770	1,412,500	845,280	310,886	2,568,666
6 小林3・4区 ユートピア	〃	R6	10	14,214	444	0	14,658	4,353,000	2,606,472	167,498	7,126,970
7 岩崎自然環境保全会	〃	R6	10	10,658	1,472	0	12,130	3,491,800	2,077,416	0	5,569,216
8 水無環境保全協議会	〃	R6	10	4,575	413	0	4,988	1,455,100	0	315,801	1,770,901
9 矢野口環境保全会	〃	R6	10	4,949	176	0	5,125	1,519,900	909,828	315,801	2,745,529
10 小倉農地水保全会	〃	R6	10	5,658	867	0	6,525	1,870,800	1,112,076	0	2,982,876
11 小代農地・水環境 保全会	〃	R6	10	5,567	230	0	5,797	1,716,100	1,026,900	314,056	3,057,056
12 長畑下組の環境を 守る会	〃	R6	10	1,299	222	0	1,521	434,100	257,796	0	691,896
13 下板橋の水と緑を 守る会	〃	R6	10	5,657	877	0	6,534	1,872,500	1,112,976	314,056	3,299,532
14 下川室環境保全会	〃	R6	10	3,319	225	0	3,544	1,040,700	621,720	311,760	1,974,180
15 針貝地区農村環境 保全会	〃	R6	10	5,895	1,300	0	7,195	2,028,500	0	144,815	2,173,315
16 大室農地水管理 委員会	〃	R6	10	8,537	1,090	0	9,627	2,779,100	1,654,380	310,568	4,744,048
17 薄井沢環境保全会	〃	R6	10	6,468	209	0	6,677	1,982,200	1,186,812	0	3,169,012
18 根室地域環境を 守る会	〃	R6	10	2,608	75	0	2,683	797,400	477,540	240,758	1,515,698
19 下猪倉くらかけ会	〃	R6	10	10,834	933	0	11,767	3,436,800	2,050,884	0	5,487,684
20 上猪倉保全組合	〃	R6	10	6,356	671	0	7,027	2,041,000	1,216,548	0	3,257,548
21 木和田島みどりの会	〃	R6	10	9,936	1,069	0	11,005	3,194,600	1,903,932	314,056	5,412,588
22 中小来川環境保存会	〃	R6	10	621	245	0	866	235,300	138,240	0	373,540
23 荊沢農村環境保全会	〃	R6	10	3,078	386	0	3,464	1,000,600	595,728	296,466	1,892,794
24 手岡農村環境保全会	〃	R6	10	5,799	472	0	6,271	1,834,100	1,094,796	0	2,928,896
25 倉ヶ崎農地環境 保全会	〃	R6	10	4,004	127	0	4,131	1,226,600	734,436	0	1,961,036
26 山口農用地維持組合	〃	R6	10	5,714	261	0	5,975	1,766,400	0	314,056	2,080,456
27 轟みどり保全会	〃	R6	10	4,567	361	0	4,928	1,442,300	0	315,642	1,757,942
28 大桑地区農地・ 水環境保全会	〃	R6	10	4,489	540	0	5,029	1,454,700	0	314,056	1,768,756
29 芹沼多面的機能活動 組織	〃	R6	10	9,268	1,360	0	10,628	3,052,400	1,815,120	0	4,867,520
30 大渡農地環境保全会	〃	R7	11	5,669	436	0	6,105	1,787,900	0	0	1,787,900
31 田川流域保全会	〃	R7	11	5,991	291	0	6,282	1,855,500	1,109,808	0	2,965,308
32 長畑鶏鳴保全会	〃	R5	9	1,110	2,026	0	3,136	738,200	418,608	0	1,156,808
33 豊田活動組織	〃	R5	9	2,089	273	0	2,362	681,300	0	0	681,300
34 二宮堀管理組合	〃	R6	10	7,041	193	0	7,234	2,150,900	0	366,942	2,517,842
35 猪倉水田多面的機能 維持管理会	〃	R6	10	2,730	271	0	3,001	873,200	0	0	873,200
36 キャングリーン	〃	R7	11	1,796	169	0	1,965	572,600	0	0	572,600
日光市 計36組織				215,718	20,532	0	236,250	68,821,800	32,569,560	5,846,360	107,237,720
令和7年度実施地区 計72組織				438,095	44,925	0	483,020	140,246,000	47,071,908	8,185,125	195,503,033

(4) 中山間地域等直接支払制度実施状況 (令和7年度)

(単位:円)

国庫 単別	事 業 名	市 名	協定種別	集 落 名 (個別協定は 認定農業者名)	交付対象 面積 (㎡)	交付金額	内 訳			
							国 費	県 費	市 費	
国 庫	中山間地域等直接支払交付金	鹿沼市	個 別	前日光牧場 管理組合	431,781	2,862,498	1,431,248	715,624	715,626	
			鹿沼市小計		431,781	2,862,498	1,431,248	715,624	715,626	
			小百褥	高 百	114,108	1,868,882	622,960	622,960	622,962	
				小百石見	109,700	2,778,490	926,163	926,163	926,164	
				長畑東沢	150,227	1,661,039	553,679	553,679	553,681	
				長畑鶏鳴	265,202	2,617,365	872,454	872,454	872,457	
				南小来川	28,191	390,030	195,015	97,507	97,508	
				日光市集落協定計		765,108	10,920,419	3,705,141	3,607,633	3,607,645
				個 別	栗山和牛改良組合 (土呂部)	98,927	733,506	366,752	183,375	183,379
		栗山和牛改良組合 (三沢原)	45,534		136,602	68,301	34,150	34,151		
		日光市個別協定計			144,461	870,108	435,053	217,525	217,530	
		日光市小計		909,569	11,790,527	4,140,194	3,825,158	3,825,175		
		計		1,341,350	14,653,025	5,571,442	4,540,782	4,540,801		

16 上都賀地域土地改良区統合整備状況（令和8（2026）年3月現在）

（1）統合整備推進地区

（単位：ha）

地区名	土地改良区名	地区委員会	地区面積	専任職員の有無	地区の状況	統合整備の取組方針
鹿沼地区 (行政単位)	鹿沼市土地改良区		1,610	有	令和3年4月1日に土地改良区の合併が認可され鹿沼市土地改良区となった。	統合整備は完了している。
		南摩地区委員会	263			
		北半田地区委員会	141			
		口栗野地区委員会	59			
		塩山地区委員会	29			
		酒野谷地区委員会	114			
		清洲地区委員会	182			
		日向地区委員会	160			
		見野地区委員会	131			
		武子地区委員会	91			
		永野地区委員会	90			
		下沢引田地区委員会	104			
		思川地区委員会	109			
		栃窪地区委員会	42			
	西沢地区委員会	30				
深津地区委員会	65					
	南押原土地改良区		476	有	職員と役員で事務処理を分担して行っている。	単独土地改良区にて運営している。
	黒川東土地改良区		201	無	役員が事務処理を分担して行っている。	単独土地改良区にて運営している。
	引田土地改良区		42	無	平成30年6月11日に設立認可。事務処理等について鹿沼市土地改良事業協議会に業務を委託している。	圃場整備事業完了後、鹿沼市土地改良区に吸収合併予定。令和6年度引田地区事業完了、合併に向け調整に着手する。
	笹原田土地改良区		38	無		
	千渡土地改良区		59	有	令和4年8月10日に設立認可。	圃場整備事業完了後、鹿沼市土地改良区に吸収合併予定。
	玉田土地改良区		42	有	令和8年4月設立認可予定。	圃場整備事業完了後、鹿沼市土地改良区に吸収合併予定。
日光地区 (行政単位)	日光市土地改良区		2,560	有	平成21年4月1日、9日に、土地改良区の合併が認可され日光市土地改良区となった。 平成25年4月1日に、日光市土地改良区に堰場川土地改良区を吸収合併した。	統合整備は完了している。
		田川流域地区委員会	211			
		板橋地区委員会	36			
		芝河原地区委員会	52			
		塩野室地区委員会	190			
		小林用水地区委員会	327			
		大谷川流域地区委員会	1,399			
		行川流域地区委員会	164			
		岩崎地区委員会	124			
		猪倉地区委員会	34			
		堰場川地区委員会	23			

※ 令和8年3月時点

17 関係機関・団体一覧

令和8年4月1日現在

		郵便番号	住 所	電話番号
市町	鹿 沼 市	322-8601	鹿沼市今宮町1688-1	0289-63-2191
	日 光 市	321-1292	日光市今市本町1	0288-21-5171
農業委員会	鹿 沼 市 農 業 委 員 会	322-8601	鹿沼市今宮町1688-1	0289-63-2184
	日 光 市 農 業 委 員 会	321-1292	日光市今市本町1	0288-21-5173
関係団体等	上都賀農業協同組合本店	322-0044	鹿沼市鳥居跡町983-1	0289-65-1000
	南部営農経済センター	322-0528	鹿沼市奈佐原町584-1	0289-71-1125(米麦畜産) 0289-75-3821(園芸特産)
	日光営農経済センター	321-2335	日光市森友923-3	0288-22-1125(米麦畜産) 0288-22-1178(園芸特産)
	栃木県農業共済組合上都賀支所	322-0005	鹿沼市御成橋町2-2051-7	0289-65-3251
	上都賀厚生農業協同組合連合会	322-8550	鹿沼市下田町1-1033	0289-64-2161
	栃木県開拓農業協同組合	325-0057	那須塩原市黒磯幸町3-9	0287-62-0274
	栃木県酪農業協同組合	321-0985	宇都宮市東町76	028-662-7311
	酪農とちぎ農業協同組合宇都宮支所	329-1213	高根沢町下柏崎541	028-676-1504
	鹿沼市公設地方卸売市場	322-0026	鹿沼市茂呂1889	0289-65-3615
	茨城県たばこ耕作組合栃木支所	321-4216	益子町塙1891-3	0285-72-9400
中禅寺湖漁業協同組合	321-1661	日光市中宮祠2482(菖蒲ヶ浜)	0288-55-0271	
公社	公益財団法人栃木県農業振興公社	320-0047	宇都宮市一の沢2-2-13	028-648-9511
	公益財団法人鹿沼市農業公社	322-0527	鹿沼市塩山町1329-19	0289-63-5570
	一般財団法人日光市農業公社	321-1292	日光市今市本町1	0288-22-7770
土地改良	鹿沼市土地改良事業協議会	322-0026	鹿沼市茂呂1889	0289-78-4441
	栃木県土地改良事業団体連合会	321-0901	宇都宮市平出町1260	028-660-5701
	栃木県農地水多面的機能保全推進協議会	321-0901	宇都宮市平出町1260	028-660-5702
国・県	関東農政局栃木県拠点	320-0806	宇都宮市中央2-1-16	028-633-3311
	鹿沼南高等学校	322-0524	鹿沼市みなみ町8-73	0289-75-2231
	東京事務所	102-0093	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階	03-5212-9064
	(一社)とちぎ農産物マーケティング協会	321-0905	宇都宮市平出工業団地9-25 栃木県JAビル5階	028-616-8787
	栃木県農業総合研究センター	320-0002	宇都宮市瓦谷町1080	028-665-1241
	栃木県農業大学校	321-3233	宇都宮市上籠谷町1145-1	028-667-0711
	栃木県水産試験場	324-0404	大田原市佐良土2599	0287-98-2888
	栃木県県央家畜保健衛生所	321-0905	宇都宮市平出工業団地6-8	028-689-1200
	栃木県畜産酪農研究センター	329-2747	那須塩原市千本松298	0287-36-0230

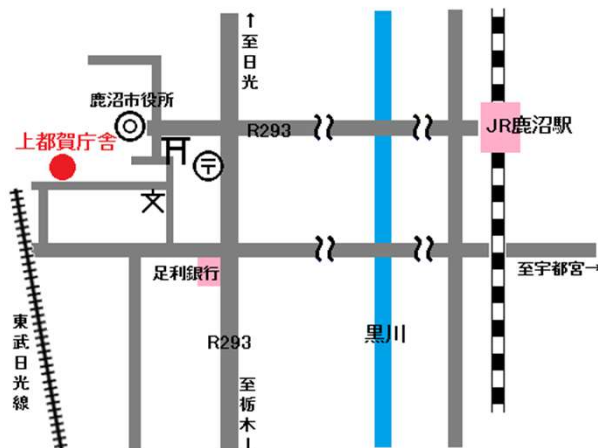
上都賀農業振興事務所の御案内



所在地

〒322-0068

栃木県鹿沼市今宮町1664-1(上都賀庁舎4階)



連絡先

代	表	TEL 0289-62-5236	FAX 0289-65-7018
管理部・企画振興部		TEL 0289-62-5236	FAX 0289-65-7018
経営普及部		TEL 0289-62-6125	FAX 0289-65-7018
農村整備部		TEL 0289-62-6146	FAX 0289-65-7018

組織体制

管理部	管理課	総務、経理、農地法、農業振興地域制度、農業制度資金に関する事務など
	企画振興部	農業振興に係わる企画調整、補助事業の推進、水田農業の構造改革、地域計画の推進、農地の集積・集約化の推進、農業災害調査・対策など
経営普及部	振興チーム	都市農村交流の促進、中山間地域の活性化対策、食と農の理解促進、農産物のマーケティング対策など
	いちご園芸課	いちご、花卉、果樹の生産振興、農業技術の普及指導など
	野菜課	トマト、なすなど野菜の生産振興、農業技術の普及指導など
	農畜産課	米、麦、大豆、畜産の生産振興、農業技術の普及指導など
	経営指導課	認定農業者・農村女性・新規就農者等担い手の育成、農業経営体の経営改善・法人化の推進、環境保全型農業の推進、鳥獣害対策の推進など
農村整備部	調査保全課	農業農村の基盤整備に関する調査・計画策定、農地の災害復旧支援など
	整備課	農業農村整備工事の設計・指導監督や検査など
	管理指導課	土地改良法の手続き及び換地、物件補償に関すること、土地改良区等の指導監督など

VERY GOOD LOCAL

とちぎ

上都賀地方の農業・農村
令和8（2026）年6月発行



振興事務所
ホームページ



農政部X
(旧Twitter)



農政部Youtube
チャンネル